京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢 … 廣告料 … 發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目 發行兼編輯人 … 印刷人 … 電話 … 振替口座京城三〇〇番

列强大戰

▲露國樂觀

露都來報、露軍大本營附タイムス特派員は報じて曰く假令獨軍が露都を占領すとも露國は單獨講和を行ふこと無し最高官憲に接近せる人々は毫も時局を悲觀せず目下の如き曖昧模稜の時機は過ぎ去り程無く一大決戰の時機に入る可きを信ぜり獨軍がウイルナを占領し終にはリガをも陷いるとも今秋中に露都が威嚇さるゝこと無し而して獨軍は本年十一月までに露都を威嚇する能はざるを知らば多分來春にて之を行はざる可し（倫敦電報）

▲羅國決意

ソフィア來電に曰く、羅馬尼は獨墺軍が其の領土に侵入することあらば斷然之に抵抗するに決せり（倫敦電報）

◎支那固執　間島問題

間島問題に關する支那側の抗議に對し我小幡公使代理は十八日支那の誤解の點を說明し正式に回答を發送せるが支那側は尙ほ前主張を固執し居れり（北京特電）

◎全國請願聯合會

籌安會に倣ひ活動す可き全國請願聯合會は十八日平安會館に於て成立大會を開きたり出席者六十餘名沈雲霈氏を會長に推し會則十二箇條を制定せり（北京特電）

◎中村總裁一行

始政記念共進會開會式朝鮮鐵道一千哩祝賀會等に參列の爲め中村滿鐵總裁は川上甲斐の理事等と二十六日發京城に向ふ可し（大連特電）

◎白仁長官一行

白仁民政長官は二十五日旅順發百濟參事官等を隨へ京城に行き共進會開會式參列後元山其他各地を視察すべし（大連特電）

◎兵庫縣觀光團

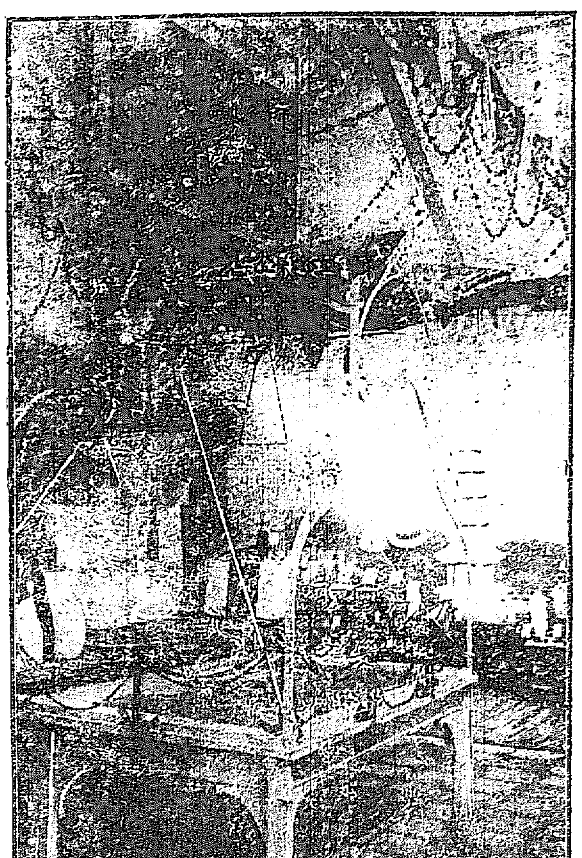
兵庫縣有志觀光團二十一日午前七時五十五分大連著大和ホテルに入る同團は尙ほ旅順に行き戰蹟其他を視察すべし（大連特電）

◎熊本縣視察團

熊本縣教育會主催滿鮮視察團三十六名二十一日大阪商船嘉義丸にて大連に渡り歸途は朝鮮釜山の筈也（門司特電）

◎記者團釜山著

京城に於て開かるべき全國記者大會に出席の內地記者團は其後人員に多少の變更ありて一行六十四名二十一日午前九時新羅丸にて釜山に入港、釜山官民多數の歡迎團は數隻のランチにて之を港外に出迎へ十一時上陸して市內觀察の後西町釜山商業會議所樓上に於て內地米菓を饗し市內を展望す、其際釜山日報社長の歡迎の辭あり之に對し關文館の玲谷永虔氏答辭を述べ了つて同十一時三十分東萊溫泉場に向へり當地の天氣は前夜半より晴れ總て豫定通の歡迎を爲すことを得たり（釜山特電）



慶尙南道道勢一斑　―共進會審勢館―

◎露獨最後大決戰

東京發別電

露獨兩軍の戰機刻々に迫り近日中に兩軍最後の大決戰行はるべし若し露軍大敗するとも獨軍ペトログラードを包圍することは今週中には困難ならんと

◎露國大官來朝

露國の軍需品調達委員長來朝す

◎朝電の紛議熄む

朝鮮電氣株式會社の重役改選に關する紛議は漸く靜りたり

朝鮮大共進會

▲臨時宿屋指定

京城協贊會にては共進會觀覽者の臨時宿舍として左記の箇所に旅館營業を托したり

營業者	場所	客室坪數
本田すな	南大門通五	二五
播磨米資（萬千閣）	旭町一	一〇〇
小山リウ	太平通二	五
金梓平一	同	九
渡邊みち	同	九
河合正之介（東萊館）	同	一三
永田勇作	黃金町一	一四
中溝芳太郎	南山町三	一四
伊藤長次郎	長谷川町五八	一七
三島エキ	大和町一	一六
森川源太郎	南山町三	一六
川本惣太郎	蓬萊町二	一三
田中竹五郎	南大門通五	一〇
山本一郎	吉野町一	一六
村上菅吉	旭町二	一五
長門龜松	南大門通五	一四
川上甚太郎	旭町三	一八
坂上エイ	黃金町二	一三
中西シェン	壽町三四	一二
上田政藏	吉野町一	一七

…旅館に投宿共進會觀覽の旨申込み來りたり

▲定例理事會

京城協贊會定例理事會は二十二日午後二時より理事會議室に於て開き旅行機、寫眞、開會式等の件に就て打合すべしと

◎宮殿下奉迎

[illegible]陸軍少將は閑院宮殿下奉迎の爲め二十一日京城出發神戶に出張したり

▲赤十字團體割引

赤十字社總會に出席すべき約六千名の會員に對しては十月二、四の兩日を限り四割引を以て觀覽せしむることゝなりたり

▲協贊會記者團歡迎

京城協贊會にては二十五日午後樂園樓上に記者一同を招待し午餐を饗し其より演藝館を專用して各種の餘興を觀覽に供すべしと

▲深川米問屋一行

東京深川の米問屋同業者十數名は理事堀江章一氏引率の下に十月三日入京の筈

◎總督仁川行

寺內總督は夫人同伴にて檜垣道長官兒玉局長及び同夫人、瀧警務部長、池邊秘書官等を隨へ二十一日午前八時五十分南大門驛發列車にて仁川に赴き同港碇泊中の軍艦及び水族館を巡覽の上更に米安園田を視察したり

◎張師長等來鮮

奉天の文武官共進會視察

奉天第二十七師長陸軍中將張作霖、陸軍少將馮麟閣、營口道臺榮厚、奉天交涉使馬廷亮、前奉天交涉使于冲漢等の文武官等は近く奉天出發共進會視察の爲來鮮の報某所に達せり

◎長官會議延期

二十一日は定例長官會議當日なりしも寺內總督不在の爲め同日は見合はせとなり二十二日午前九時三十分開催の事となれり

◎共進會入場者

二十日（月曜日、晴）

▲晝間　內地人、朝鮮人、支那人、外國人、無料者

一萬四千四百十人
二千七百八十三人
一萬九百九十九人
八十四人
二十三人

▲夜間　內地人、朝鮮人、支那人、外國人、無料者

一千百七十三人
五千五百二十二人
一千四百七十八人
三千百六十八人
三十三人
二十八人
八百二十三人

▲開場以來累計

▲晝間　十二萬五千五百八十八人
▲夜間　六萬六千百三十九人

◎觀覽團消息

▲京城女子高等普通學校二百四十人　二十日共進會觀覽
▲永興郡四百七十四人同上
▲始興郡四百五十一人同上
▲開城女學校普通學校百五十七人同上
▲培材學堂百四十四人同上
▲五星學校二百七十八人同上
▲海軍々人七百四十八人同上
▲京城府民三百六十八人同上
▲高陽郡三百七十五人同上
▲始興郡六百九十九人同上
▲永山郡團體百九人同上
▲蔚城百七十一人同上
▲坡州郡九百三十五人同上
▲英陽郡五十二人　廿一日午前仁川へ
▲奉化郡八十二人　同上
▲靑松郡八十二人　同上
▲海州郡二十人　同上
▲慶源郡二十六人　二十一日入京
▲延山郡二百三十五人　二十日午前退京
▲穩城郡二十八人　同上
▲大同郡十五人　同上
▲救世軍士官三十五人　廿一日入京
▲醴泉郡百六十三人　廿日午後入京
▲碧潼郡五十七人　同上
▲平壤府三十六人　同上
▲始興郡三百十五人　同上
▲盈德郡百四十人　同上
▲統營郡三十人　同上
▲仁川府四十八人　同上
▲砂利院二十四人　同上

◎水產局長入京期

農商務省水產局長松崎壽三氏は十月四日南大門驛著汽車にて入京す可し五六の兩日元山に赴き七八兩日京城に開催の筈なる水產大會に出席の上仁川視察を爲し都合に依れば大連を視察す可しと

人事消息

▲松本正寬氏（辯護士）　木浦、光州、全州地方に訴訟用にて出張中の處二十一日午前歸京
▲坂出鳴海氏（總督府技師）　二十三日出發歐洲出張の途に上る筈なりしも令息急病の爲め已むを得ず延期して出發期未定
▲小林鐘次郎氏（海軍主計中監）　二十日午後釜山を經て內地へ
▲佐渡秀光氏（朝鮮皮革會社取締役）　二十日內地へ
▲嚴柱日氏（李王職贊侍）　同上
▲寺內毅雄氏（總督令息步兵少尉）　二十一日午前入京
▲上田駿一郎氏（編修官）　同上
▲湯淺凡平氏（代議士）　二十日釜山著北行
▲佐藤潤象氏（元朝鮮瓦電重役）　同上歸釜
▲飯岡政重氏（工學士）　二十日入京巴城館へ投宿
▲木下東作氏（醫學博士）　二十日入京山水旅館へ投宿
▲宮本從次氏（奉天土地調查局…）　二十一日入京不知火旅館へ
▲津末有郷氏（咸興地方法院判事）　二十一日夜入京不知火旅館へ投宿
▲川澤滿太郎氏（同檢事）　同上
▲大和田莊七氏（實業家）　二十一日午後五時入京旭旅館へ
▲矢野恒太氏（第一生命相互會社專務）　廿二日正午朝鮮ホテルに記者團招待

南言北語

米國の態度は武的干涉も何うなるか出た切り誰で後が分らないから之れも之れ丈けだらう▲對獨問題でラッフと云つて居るかと思ふと英國で押へた米國から讓行の多額の荷物があるこれでは何うも人の痛氣を頭痛に病む方が餘つ程馬鹿だ▲此頃倫敦では兵器製造提議行して居る▲英國は徵兵制で內閣議多つき露國は議會閉會で決して紛議が起る▲急がしいのは露軍人のみならんやだ上下一致して急がしければ活氣があつて好い▲外征進まず國內三鞭の酒氣が滿ちて居ては戰爭に勝る筈はない▲獨軍は遂にウイルナを占領したらしい▲此處を取られては露都に到る鐵道の長距離は獨軍の手に歸する事となる▲今少しの間だ、露軍必死の奮鬪努力を要する▲追々月末に迫るにつれて、各地方から共進會觀覽團が續々入京する▲二十二日の夜には今度初めて京城で開催さるゝ全國新聞記者團六十四名が乘り込んで來る▲新殖民地に於ける此の種の會合は嚆矢であるから來會者も頗る快愉な事であらう迎ふる方も大に快愉だ▲快愉と云へば近く奉天二十七師長の陸軍中將張作霖氏を始め前の京城支那總領事今の奉天交涉使馬廷亮氏や于仲漢氏等の一行も愈々共進會視察として入京するらしい▲張氏と云ば人も知る東三省の大權勢家であつて于仲漢氏は非常な日本通で東京外國語學校の敎師もして居たんだ▲之等の人々の視察は唯に普通一般の觀覽者とは違つて國家の爲め大に慶賀すべき事である日支親善の點に於て從する處が多いのであらう▲吾曹は大に諸君を歡迎せんとす此の珍客を迎ふる京城人士も亦吾曹と同樣大に歡迎する事は受合だ▲此の際更に段上將軍の來遊を、吾曹は更に進言したい、イヤ希望して止まぬのである▲長しと云へば長し短かしと云へば短かい此の五年間に熱心に開發した朝鮮の現狀が如何に發達して居るかを實證する此の共進會に之等珍客を導くのは聊か吾曹の誇りである樣に感ずる

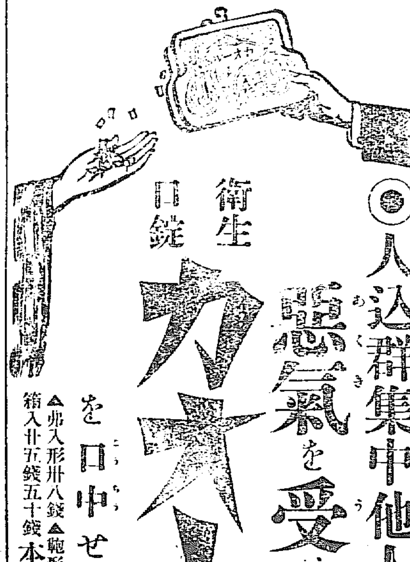
記者大會急告

來二十三日午前九時より朝鮮ホテルに於て開會すべき全國新聞記者大會に參列の爲め來著せられし諸君は大會準備の都合有之候に付何卒直に電話若くは葉書にて御宿所氏名等御一報願上候

朝鮮新聞協會幹事　高山覺威
電話（京城日報社構內一番 夜間は三四五番）

現色現寸
日本紙幣古今集掛軸
◎精製で最上光澤紙印刷鮮明紙幣百餘種說明附
◎藩札、縣札、軍用手票、朝鮮銀行發行札は勿論、太政官札、爲替札、日本銀行兌換札、大藏省札、日清日露日獨各軍用手票より現行紙幣に至る迄實物同樣眞僞見分け得ざる程の妙技は月刊寫眞帖の紙幣譜明す學校、銀行、家庭の參考商業補習の床飾に是非必要品◎（取次）販賣は最も有利、見本は郵券貳錢送附あれ
定價特製 參圓七拾五錢 上製 貳圓七拾五錢 但當分の內送料不要
東京淀橋町柏木一二八 東光社
電話番町… 振替口座東京…

◎一等には貳千圓の割增金を附す
◎初回くじびきは來る十二月
◎第六十三回 勸業債券 五分利 拾圓券 賣出
◎來る九月十六日より同月三十日まで
日本勸業銀行及各地代理店、取扱所並に郵便局にて



最上醬油
特許機械製
ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
大正博覽會に於て
金牌受領
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社

總督水族館を觀る
沿道歡迎の小學兒童に質問を試む

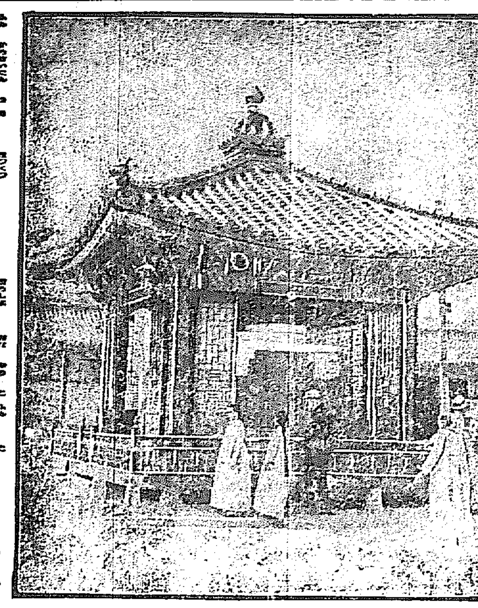
仁川入港中の第二艦隊名和司令長官の招待により仁川水族館の巡覽を兼ねて仁川に向ひたる寺内總督は廿一日午前八時五十分南大門驛發車の特別列車にて出發せり隨行者には檜垣道長官、白井總督附武官、兒玉總務局長、大藤副官、池邊秘書官、瀧警務部長、小宮李王職次官、黑田囑托等の人々あり尚總督夫人、兒玉伯夫人、同令孃の一行も之に加りたるが更に龍山驛よりは井口軍司令官、川村第九師團長、古海參謀長、館野、野津兩副官等乘車し途中永登浦驛にては内鮮人小學校生徒多數の送迎あり其他沿線各驛にて官民

▲多數の送迎 をうけて午前十時朝鮮驛著驛頭には久水仁川府尹を始め永井土木局仁川出張所長、櫻井稅關長平田觀測所長松田水道事務所長松元警察署長奥田商業會議所會頭其他官民多數の出迎あり特に總督夫人一行に對しては久水夫人等出迎へあり總督は驛前より徒歩にて宮洞通の坂道を登り沿道歡迎の官民有志在郷軍人會員、赤十字愛國婦人會員等に對しては一々叮嚀なる答禮をなしつゝ久水府尹の東道にて市中に向ひ沿道に整列せる内地人小學校生徒普通學校生徒に對しては一々歩を停めて質問を試みたる外鮮人私立學校及び宮洞隧道の傍に整列せる佛蘭西人經營の孤兒院兒童に對しては監督の尼僧に種々質問するところあり宮洞隧道よりは隨員一同と共に腕車にて海岸

▲水族館に向ふ 館の入口には仁川協贊會役員一同の出迎へあり斯くて同十時半水族館に入り館内三層樓上に設けられたる貴賓室にては夫人及び井口軍司令官、以下の人々と共に少憩それより樓上の海產物陳列品を觀望し更に階下にては久水府尹鎌田水族館主任の案内說明にて明るき玻璃板中の魚類を見物したるが同館名物の海驢が魚を追ふて潮を湧かするあたり特に感興を催せしものゝ如く見受けられたり次に構の一階より起る鬪壇たる事務室、構内各種の餘興、水館賣店等を巡覽し更に腕車を驅つて一同と共に海岸通りを稅關埠頭に出で棧橋より汽艇ランチ第一宮丸に乘船し港外遙かに碇泊せる第二艦隊旗艦鹿島に向へり時に正午十二時。

高句麗時代古墳の模型
李王職の出品

朝鮮あつて初めての大共進會、それを見ぬ人は無からう、共進會を見た程の人なら朝鮮の古美術の粹、藝術の蹟を聚めた石造の大建築美術館を見物せぬ者はあるまい、共進會に行き美術館を訪れる位の人であつたら、美術館前にある千數百年前の古墳を見落してはならぬ、お墓もお墓も千數百年も大昔の人がその屍を埋めたお墓、それも只の人では無い、當時の政權を握つてゐた王樣のお墓である、そのお墓が千數百年後の今日新政の美を飾る可く出品されてゐるのだ、時人でなくてもこゝに足を止め、そこに有りし昔の歷史を辿るならば一際感慨に打たれ、この榮ある大事業の中に歩を移して居る幸福に浸せぬものがあらうか、この古墳は李王職博物館の出品で三間四方位の朝鮮式御堂の中に納められてゐる、此所は博物館と美術館の間の樹の蔭り、四角堂の丹紅と青と黄との色も鮮かな樑と棟の下に古色蒼然たるその姿を据えられてゐるのである、之は先年關野工學博士一行が平安南道江西郡で發掘したもので墓石に殘る壁畫から非常に喧しく世評に上り暫く世人の注意を惹いたものである、それを李王家では名ある東都の畫家を聘して模寫させて保管してゐたが今回同畫家をして新しく原圖の二分の一に模寫せしめ墓の形も原物のまゝに模して組み立て、一方の石扉を開いて内部を見せる樣に仕組んで出品したものである、この墓は高句麗時代の古墓で江西郡二部里から發掘されたもの、同所には同じ樣な古墳が三個ある、その一つには壁畫が無いが他の二大墳墓には當代の美術を窺ふに足る立派な壁畫が殆んど少しも損んせずに殘つてゐた、その壁畫の奇拔、意匠の巧妙、草花の模樣や、怪獸、天使、怪鳥、鳳凰、街上からも立派なもので蓋し半島無比のものであらうと云ふ、その一番大きいものゝ半分の形が即ち之れなのだ。



天勝、奈良丸、呂昇、須磨子
相踵いで來る

京城協贊會にては場内の呼物演藝館には時々目新らしきものを出演せしむる方針にて開會前より東京に交渉を重ね既に天勝一行は來月上旬京城に乘込み十日より演藝館にて花々敷く開演の筈にて天勝の後には浪花節の大關奈良丸を入るる事に決し居り呂昇は目下交渉纏まり居たるが名古屋及び東北地方の興行地に先約ありとて斷はり來れるが其後更に又交渉を重ね東拓の村田理事等斡旋する所あり殊に本月末には閑院宮殿下御入京遊ばされ或は御前開演の光榮を荷ふ機會あるやも計られずとて呂昇は非常に乘り氣になり居る由にて十中の八九まで本月末頃に入京すべしと又協贊會にて東京の女優を聘する計畫ありて松井須磨子等にも交渉を重ね居れば來月に入らば東京一流の女優の乘込み來るべしと

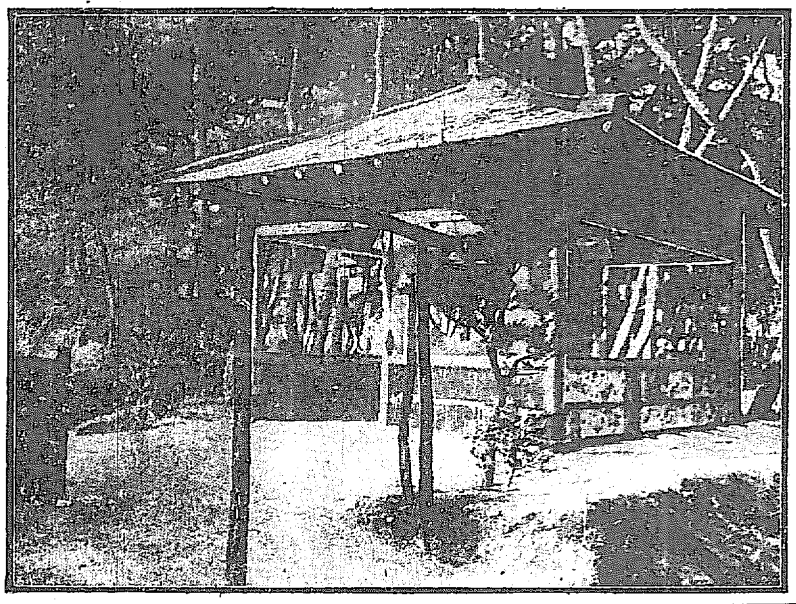
休憩所巡り
(三) 氣の利いた四阿

松原の中から、白樺の家根が見えるはて珍しい健物で御座るわいと近よつて見れば頗る氣の利いた東屋で栽の垣根、黄楊の門

▽裏には花園 があつてカンナや鷄頭が咲いてゐる、コスモスや紅葉もその間を彩つてゐる、遠慮も會釋も無く中に這入ると音に名高い釋王寺の寫眞や、甲山、豐山郡界鵠嶺の縱林、北靑邑の寫眞等が掛つて居る、鮮人紳士の數名あるを見れば胸に『咸南』の徽章を付けて居る、血の巡りの惡い吾輩も初めて此堂々たる建物が、咸南の觀光團體を迎へる爲めに態々建築されたる咸南協贊會の休憩所であるとに御氣付き遊ばさると、同時に非常に御氣に入つて仕舞つて

▽丸卓子の前に ドッカリ腰掛けるとそこには仕出しの一つ書が下げてある、どんな御馳走が出來るかと拜見すると、モミ、ケヤキ、クロマツ等と片假名で記されてある之れはしたり、咸南特產の材木の標本であつたのか、さう知ると此家の材料が甚だ氣がゝりに爲る、キョト〳〵とそこらを見廻してゐると、果してあるわ〳〵『休憩所用材說明』フアーム、板はアラ、ギで、大柱が落葉松、小柱は樅とシナノキとハンノキ、軒裏は樺の皮の裏、手摺は樅で腰板がミホデと樅とドロとナラと栃と梨とヤマナラシとシナノキ、栗、樫、懐しいなあ……フーム……

▽腰板張が樺 の皮、腰板押が備荷、垂木がアベマキ、埋木もアベマキ、卓は脚も板も梨で腰掛がハンノキ、丸窓が萩、家根が樺の皮で扁額はすべてアベマキの皮、天井は落葉松で―別に建てられてゐる湯沸所の柱はアベマキで垣根は萩と―成程、凝つたものだ、吾輩は爾後共進會に來觀する度に、必ずこゝに御立寄り御休憩遊ずことに決心した、何!風流だけからではない、度々御立寄り遊ばさるゝ間には大の材木通になれるだらうと思つてのこと―



氣の利いた四阿 ―咸南の休憩所

東洋一の重石鑛
外人共進會陳列の鑛產を觀て驚嘆す

昨今共進會見物を兼ねて朝鮮の秋を探る外人多く橫濱山下町の貿易商ジョージ、アーレン氏も其の夫人と共に入京した氏は商賣柄共進會第一號館に於ける鑛物の陳列は多大の興味を以て觀て居たが『此處の陳列品は東京鑛務所の標本より遙に優れて居る』と感心しながら態度をを云つた、金剛山は豫て景色の好いとも聽いて居るが其の附近からあんな出品が出るかと思へば將來鑛產地として有望な土地だらう、又朝鮮が未來多き鑛產地であることは從前とても聽いてゐたが斯くまで豐富だらうとは思はなかつた、これを觀ると朝鮮半島の鑛產物は遙かに日本内地を凌駕してると思ふ、殊に朝鮮の黑鉛と含重石鑛は東洋第一と稱しても不可なき程で、タングステンの重石鑛業なども將來盛んならしめたいものである、朝鮮の重石は從來一パアセント廿四圓の掛賣買で取引されつゝあるさうだが私の店でも現金で十八圓位に買つてゐる……』と又氏と同行せる米國ハリス研究所の技師エツチ、ウイリアムス氏曰く『私も亦朝鮮の鑛物に感心して見物した一人だが併し雲母は劣等であると思ふ又碎鑛器械のスタンピン式は大切な鑛石を五分方も捨てるやうなものであれでは不完全である、あれよりもまだクラシャ式の方が好い、又日本の大鑛山を視ても皆機械の備付が惡くて見す〳〵損をしてる人が多いのは遺憾である、朝鮮でも自分で解ることから見てあげたい』と

夜の興業場
奥太郎記

=廿日= 熊谷特設館や東拓館まで夜間開場さあつて夜の共進會場はいよ〳〵日增に盛況を添へてゐる、歐架の中心演藝館の活動を覗くと七分の入り、アラビヤの風俗寫眞の映寫中、寫眞が鮮明で館内が暗いので眼も疲れず、辯士の說明も鮮かだ、特等席には外人の夫婦連れが三組ばかりも見えた、慶會樓池畔の夜景を眺めつゝ興業場に出ると曲藝場の役力、何の小屋も人の山、客を呼ぶ呼び聲と樂隊の音で賑かなとパノラマ館に入つて見る、歐洲の陸海戰、奧州から見たる富士の眞景、海金剛、金剛山萬物相、鏡路館の故事など一々說明つきで見せる、矢野動物園は餘りの人ごみに次の不思議館に敬意を表するとこゝは八分の入り、狭かに合戰で恭日公べそ子を喜ばせてゐる、賣店の方に出て最後に曲馬場に潜り込むとこゝは殆んど滿員、特等席には園廣子夫人や園ちやん、渡邊牧師の家族連れ、入口には吉原協贊會長等も熱心に見物して居る、人間業とは思はれぬ少女や青年の巧妙な馬術、自轉車曲乘、熊の綱渡り等に朝鮮人は『イロンチエ』『アイゴー』の連發、十時半頃超亞施子も來場し暫時見物した上夫人等と連れ立つて歸つた、こゝのはれたのが十一時

蔡屈服す
辛辣なる論告

賊首蔡應彥の上告裁判は二十一日午前九時より平壤覆審法院にて開廷蔡は相變らず勝手次第なる主張をなしたるも三井檢事は嚴格なる語調にて死刑を要求し寧ろ前判決は輕きに失するの觀ありと論鋒鋭く求刑を論じなきやと問ひしに蔡は最早申立てはなしと答へ茲に愈々彼は死刑を受けたり(平壤電話)

長春の三井物產會社燒く

二十日夜長春三井物產會社出張所より火災起り死去二名重傷者六名輕傷者十數名を生じ家屋全燒したり其原因未だ不明なり(長春特電)

尊由師來らん

大谷光瑞師の令弟尊由師は二十日上海に向へり彼地信徒の喜捨にて立派なる別院建立せしに付其入佛式を行ふ爲なり歸途朝鮮に立寄るべし(大阪特電)

賑つた『しらぎ』デー

日に日に人氣を增してくる家庭博覽會の二十一日は前日來一般入場者の待構へた評判の『しらぎデー』で開場早々から來觀するものが多く大へんな景氣だ、正午過ぎからの入場者は殊に多く入口で『しらぎ』一個宛を渡されては『ヤア有難う、これでは半額で觀せていただく樣なものですな』などとホクホクもの運動場では持參の煙草を吸つて見るのでしらぎ萬歲だ、恁うして『しらぎデー』の裝は大盛況で終り夜間開場を迎へようとしてゐる

家庭博覽會

市内衞生視察

二十一日午後芳賀總督府醫院長、駐箚軍々醫部長大西軍醫監の兩氏は數名の隨伴者と共に京城市内に於ける衞生視察の爲本町鍾路兩署管内を巡視したり

本願寺の彼岸會

南山本願寺に於て例年の通り廿一日より廿七日まで彼岸會を執行し午前八時より午後二時まで同七時には說教講話あるべく尙彼岸中日午後二時より納骨納供養會を修し預け主の燒香式あり

暴飲暴食して心臟痲痺を起し頓死す

江原道楊口郡々内面上里住賢翊(五)は共進會觀覽の爲め同郡の視察團一行に加はり入京し二十日午後宿舍より隨意外出し何れにか立越し物珍しさに飲食店にて鱈腹飲食したるにか、如く同夜遲く歸舍したるに俄に腹痛を初めたるより早速最寄の漢城病院に就て加療せしも其效なく二十一日午前三時頃心臟痲痺を起し遂に死亡したりと

懷中電燈を拳銃に擬す

慶北達城郡壽城面十明洞住民中持月が去十八日午後十時頃自宅の周りに怪しき音するに氣付き何事ならんと見廻はる間もあらせず突然禹命基(三九)なる者宅内に闖入し懷中電燈をピストルに擬し金を出せ騷ぐとピストルにて打殺すと懷中電燈をピカ〳〵させれば懷中電燈などは夢にも見し事なき持月は今も絶え入る心地しを命基は頗著なく十三圓を奪取しる風を喰つて逃走せんとせしも遂に逮捕され諸熊司法係に取調中なるが彼は前科三犯の曲者なりと

演藝株式會社
創立の準備中

京城の活動寫眞常設館有樂館及び龍山の觀光館を經營し尙將來殖に擴張する目的にて京城有志者間に演藝株式會社創立の計畫中にて資本金は七萬五千圓とし大部分は發起人及び大倉組にて引き受くることゝなり近く創設認可の申請をなすべしと

賑ひの仁川

探海燈を照らし尾島オブン島のすゝ京仁間の臨時列車以外此日は龍彼方から海岸、市中一帶は眞壺と化し山から特別臨時列車を出したのでこチの後に引いて行く有樣は觀物であつた海軍々人の市中見物に上陸する

九月二十三日 九星 舊八月十五日 丁巳

連絡船上陸客 二十日夕入港弘濟丸二等客

天氣 晴れ後曇り

機械油 カーバイド
車輌機械油 重油 輕油 製造販賣
日本石油會社 九州一手販賣
信濃電氣會社 カーバイド西部一手販賣
本店 門司市露月町(電話四五一・五二番)
製油所 新潟市關屋大川前(電話四三番)
岸商店

旅館 元山 愛媛館
海岸通一丁目 電話三三三番

◎みくに煖爐 コークス焚(炭にても宜し)
本器は内部耐火煉化入に付破損の憂なく永く温度を保つ付最も本器の特色なり
◎胴張形ストーブ(石炭コークス用)
本器は他の粗製品に比較し最も堅牢にして殊に東京品が他の製品に優るは世間一般に定評あり
販賣御希望の御方は御一報次第定價表送呈
各種煖爐及附屬品製造元
東京日本橋區檜町三丁目 和洋金物卸商 石渡喜八

冬物品揃
祝共進會開催
祝家庭博覽會開催
染料暴騰も不景氣の爲め商品は漸次下落致し昨年と比較
絹布 壹割安
綿布 は同樣
本年綿布は不良染料品有之候に付弊店は特に注意致し最良染料品のみ撰擇致置候間御安心御買上奉希候
京城本町 三中井呉服店 長電三七

内に堂々たる其の雄姿を現はしてから港内は非常なる賑ひである、入港當夜は鹿島周防三笠肥前の各艦から…然たる不夜城翌日曜日は…雨曝に下車した觀客は非常なもので水族館用館…午後と二運轉…食で軍艦觀覧客の便を計つて通船を出すといふ始末數十隻の解船をランチ…入の觀覧團も尠くなかつた…京城からは華麗な風采で來た…乘り込んで來る御夫婦連れが多く…

北まはり

一直線に臺灣へ　神崎憲一

海波遠く相連なり行衞も越し方も唯蒼溟極まりとてなし既に出發以來一晝夜を馳せたれば早や三百餘哩の海上にあり近しと云はゞ飛石にも似たる琉球列島にこそ最も近からんも素より島影だに見えず警報もありしとの事なれど何時やらむそれたるらしく航路いと平安船室氣温八十三度扇風器を開放せる船窓よりは不斷の風來れども鹽氣を帶び且つ頗る生温かし斯くて船は南へ南へと進む（二十日午後四時亞米利加丸無線電信發電）

▲一氣臺灣踏破

臺灣母國間の電信は二條の海底線破損の爲め目下不通なり本船は明朝九時大瀬崎海岸局との通信區域外に出る爲以後の電報は外國電報取扱ひにより厦門を經て支那經由に依らねばならぬ船中に高田殖産局長ありて大に臺灣殖産及び朝鮮の米と棉花を賞揚せり明朝より船内新聞發行の筈二十二日朝基隆上陸同夜打狗に赴き直に引き返し此日午後同船丸に乘る筈（二十日午後五時亞米利加丸無線電信發電）

改良したい朝鮮の家庭（下）

子爵　趙重應氏談

家庭其ものが萬事親本位であるから親を大切にすること、祖父の祭祀を司ることに於ては非常に務める、此れは一つの美點であつて賓客接待も中々に努める、之れは内地なんどの樣に御客の席に出て接待はせないけれども、其御馳走を調へて客に滿足を與へると云ふことに務めるので甚しきになると客に滿足を與へん爲には品物を質に入れても御馳走を調ふると云ふ樣な風であつて此等は内地人の寧ろ觀察を誤つて居る點であらうと思はれる

▲前に早婚の事に就て御話をしたが、早婚は夫のするのでなくて其親がするのであるが、此等はあつても他人よりは一層他人行儀に父母の前では話も親しくすることは出來ぬことになつて居るから夫婦で道つて居る、夫婦が打連立つて散歩に出掛るとか見物に行くとか云ふことは夢想だにすることは出來ぬ、それで早婚は内地人などの想像する程衞生上の害はない其代り夫婦の情愛と云ふことは全くない然し其結果として畜妾の風が一般に行はれることに成つたのである要するに朝鮮の家庭は禮記から來て居るのであるから嚴格主義で形式を尊ぶことになつて居る、以上申した通りでそれ相當の美點があるけれども今日に於ては夫々改良を要することも澤山あるから家庭の改良と云ふ問題も起る際で自分の是非此際内地の風に倣つて改良さして見たいと思ふのは第一狹き家を廣く利用して行くこと第二清潔を尊んずる事、第三人を少くして働くこと、第四生活を簡單にすること、此等は内地家庭に於ける特色とも言ふべき特點で是非模範とせねばならぬ、次に

▲朝鮮の家庭で急に改良を加へねばならぬことは、婦人が親戚以外のものには直接逢つて話をせないので夫が居らなければ其家は留守同樣になつて偶々用事があつて訪ねて行つても一切取合はぬので折角の要務が無駄になつたと云ふ例は少くないから非常に不便である此等は第一に改良したい次は妾を廢することで之れは夫婦間の情義を密接せしめることである、又家庭は何處までも禮儀を守つて家規を立てゝ行かねばならぬけれども其間に相當の趣味を加へたい、又女は絶對に外に出て買物をせないので非常に不經濟な點がある之れも是非改良して女が自ら外に出て物を買ふ樣にしたらば非常に經濟に行けるであらうと思ふ、然し此家庭に就ては

▲深き根底があつて其根底は何處までも維持して行かねばならぬ、今の青年輕浮の徒が自由結婚等を唱導するのは非常なる間違ひである東洋は矢張り東洋の特色を何處までも發揮して道徳を土臺として家名、家法、家族、家規、家風、家禮を保持し而して其間に他の美點を取りて之に加へ且つ改良を行つて行く事にしたいと思つて居る。

北進會に警務總監部より出品せる朝鮮古代の捕盗大將の行列人形

畫舫命名

結局樂浪丸か、平壤の舊名から

既報の如く大同江畫舫の進水式は來る二十四日の秋季皇靈祭當日平壤稅關波止場附近の大同江に於て擧行の筈なるが尚其の際同時に畫舫の命名式を行ふべく畫舫名は目下關係者に於て寄々協議中なるが一同の意見としては畫舫名は平壤の別名を取りて命名する方好からんと云ふ事に一決したるが今平壤の別名としては箕城、樂浪、西京、西都、柳京、鎬京等あり、この中最も呼聲高きは箕城、樂浪、柳京の三つなるも箕城は既に世に言ひ觸し、多少古臭き感あるより其中の樂浪柳京最も有望なるものゝ如く二つの中何れかに決定すべきも今畫舫製作者の言ふ所によれば畫舫中に水神を祭る筈にて其の御神體は柳の木を以て彫刻する積りなれば畫舫の名に柳と云ふ字は避けざるべからず結局樂浪に決定を見んかと愈々命名の決定するは茲一兩日中なるべし

本舖香油　金牌受領
髮を黑く長くつやを出しふけを少くし髮の毛の拔るを防ぐ妙

火の用心

去る八日の本紙第二面に某當局者の談として一般民間に此際最も警戒を要するは火の用心であるとの注意があつた如く誰しも充分心得て居て忘れ勝ちになるのは火の用心である故に斯樣の注意が有つたのを幸ひ是非共備付けて置きたいのは消火器であるが從來の消火器は不完全の點や不便があり殊に危險な硫酸を使用したり當地の樣な寒氣の強い處では非常の際に水が凍て役に立たなかつた例もあるので當地の消火器は粉劑の者が最も結果が良い樣である粉劑消火器と云ふ者は水を用ひず種々の藥品が火に逢て化學的變化を起し迅時に鎭火すると云ふ至極重寶な品である此藥品は器物を汚損したり人體に害を及ぼす樣の事は絶對に無い併し粉劑消火器にも色々の種類が有るが最も信用のあるのはモデル粉劑消火器である本器は大正元年以來當地の諸官署で屡々實地の消火試驗を行つた結果は常に卓越の効を表し最も賞贊を博し他の消火器中之に及ぶ者が無いとの評がある又本器は純内地の製品で自作自給を尊重する今日最も時宜に適した品である本器には十五箇年の有効保證があり其間は藥品の詰替とか試驗と云ふ面倒の手數は更に必要がなく有事に際しては誰れでも本器の藥品を火勢に打ち掛くれば充分の効を奏するのであるから婦人や小兒にも容易く使用が出來得るので一般家庭には是非無くてはならぬ必要品である本器は京城本町一丁目山岸天佑堂が滿鮮總代理店として此際一個が僅か二圓と云ふ特價で發賣して居る

商況

東京株式特電

銘柄	二十一日前場寄付	大引
日本郵船	九一、〇〇	九一、〇〇
日韓瓦斯	……	……
鐘淵紡績	……	……
同上新株	……	……
日本麥酒	九三、一〇	九三、一〇
東株第一	一四九、六〇	一四九、五〇
東株第二	一四九、九〇	一五〇、〇〇
東商第一	一二四、二〇	一二四、〇〇
東商第二	一二四、九〇	一二四、九〇

東京期米特電

二十一日	十一月限 前場	後場
寄付	一一、六五	……
高値	一一、七四	……
安値	一一、六一	……
止め	一一、六六	……

債券現物特電

二十一日出來値段（前日との比較）

銘柄	値段
東洋拓殖	……
日韓瓦斯	……
朝鮮銀行	……
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	二四二、〇〇

深川在米特電

二十一日現在高

品種	現在高
朝鮮米	五二、六六二
蘭貢米	五八、二四四
内地米	一七八、〇七九

東京公債直取引特電

二十一日出來値段（前日との比較）

銘柄	値段
五分特別	九五、一〇
五分甲號	……
一回四分	七九、八〇
二回四分	……
五回四分	九四、二〇

大阪三品特電

二十一日前場	寄付	大引
九月限	一〇、四〇	一〇、五〇
十月限	一一、七〇	一一、九〇
十一月限	一二、八〇	一二、九〇
十二月限	一四、〇〇	一四、五〇
一月限	一五、〇〇	一五、五〇
二月限	一六、九〇	一六、九〇

大阪株式特電

銘柄	拂込	二十一日前場止値	同日後場止値
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]	……
神戸電鐵	五〇、〇〇	……	……
京阪電鐵	五〇、〇〇	[illegible]	……
和歌山水	[illegible]	……	……
合同紡績	[illegible]	[illegible]	……
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	……
同上新株	[illegible]	[illegible]	……
東洋製織	[illegible]	[illegible]	……
大阪商船	[illegible]	[illegible]	……
日本郵船	[illegible]	[illegible]	……
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	……
東京新株	[illegible]	[illegible]	……
大阪株式	[illegible]	[illegible]	……

大阪期米特電

二十一日前場	當限寄付	中限寄付	先限寄付
寄付	……	一一、六〇	一一、九四
止め	……	……	……

下關期米特電

二十日前場（砂け道報安）			
寄附	一二、四〇	一二、六〇	一二、八〇
高値	一二、四〇	一二、六〇	一二、八〇
安値	一二、三八	一二、五八	一二、七〇
止め	一二、三八	一二、五四	一二、七五

雜報

●内地糖界の近況

盤水港製品中不正品受渡問題紛議を醸し以來糖況問散全く閑散に陷り一方期米の需要期を脫迎したるさ相俟つて殆んど糖價標準を失し精糖二十二圓と一時の高値に比し二三圓方も崩落せり海外糖が戰時影響を受け反して斯る市況の如何にも姿躍として振はざるは一見奇異の感なきにあらざるも此は畢竟斯糖關係の結果當然の成行に過ぎざるべし即ち昨年度の大收獲に殆んど倍加し本年度は五百萬擔と云ふ有り前古未曾有にして且つ前年に對し此の増收を告げ居れるに内地の需要は昨年度末より不景氣の爲め全く賣行振はず殊に地方商人は一時買占め思惑をなす者跡を斷ちて値少なる小口當用注文をなすに過ぎざるより斯くて二十四圓の材料に漸次壓迫せられ遂に一時の高値より二圓方も崩落し分密糖に到りては相對取引の成行を示したるに外ならざる也されご諸物價悉く低落し殊に米價が近來稀有の低値を現はせる實狀に鑑みるときは如何に砂糖は世界的商品とは言へ砂糖の二十二圓見當は甚だしき格高に相違なければ此邊の値頃を持續する以上需要減退は必然の勢ならざるか

●大阪期米瓦落

相場の反動以來不勢に不勢を重ね今前場は遂に大阪十二圓豪割れを報じ殆ど底拔け的の成行を示せるが之れ畢竟彼岸入の好順に氣崩れ喚び投げの損出さ歐派の追報に餘儀なくされしものにて今日の場合當然の成行きさして依然八圓八十錢見當の縮少を見つゝある仁川市場は別項の如く果して如何に展開すべきか今前場此上瓦落すると仁川相場は彼岸底として大反動を見るべし若し大阪相場にして此邊に喰ひ止むれば彼岸山和も先づ好頃の見越し下げに得るや併しながら此處暴歎何れにしても虎の見を得ずの譬へもあり要領一番大に乘出すべし

●梨は頗る好勢

梨は一時滿眼姿に鈍狀を呈せしも愈々盛を迎へ天候は案外快晴となりし爲鮮前間の買氣再び勃發して朝來の市場は非常の殷盛を極めたり出來値は鄂州物五六十玉入平均一圓六十錢大邱物百内外入突込みの一圓二十五錢の出來にて前日來に比し約一割以上の昂騰を示すに至れり

下關相場

▲大小豆の現況　大豆は其後相當の出廻りありしも巳記の如く安き賣り物のあらざる爲め人氣惡しからず鎭南浦產二百叺口は九圓三十錢に出來せり尤も小豆は依然當用口への賣れ行きに過ぎずして人氣面白からず安東縣花小豆大品三十叺許りは八圓三十錢に出來したり而して其他雜々の出來値は前報同樣也

▲小麥は變らず　其後出廻り皆無にして賣り物多からずと雖も是又前に買進む相人の現はれざる爲め市況活氣なく豐前產五十俵許りは上品として九圓十錢にて手合せ行はれたり

▲肥料の現況　魚肥は前報後出廻り皆無なるも何分米價安に連れ依然買人の高値は望まざるに依り市況沽氣なく然れども最早米價との比較上安過ぎの感あれば此上安値は絕對に望まれざるものゝ如し而て元山夏干かの並品百五十本許りは二圓丁度に出來せり

京城雜穀

小麥は拂切物となれば矢張七圓二十錢の値頃を維持しつゝあるも昨今斯かる匯良品の出廻り稀れにして一般買氣の滲はざる穀弊通品は益々不勢の傾きあり小豆は眼前新物の出廻り期に迫り愈々不勢に陷り赤上物にて裸の四圓七八十錢並物四圓見當を唱ふるに至り大豆又同樣過般來約四五十錢の氣配を呈せり

南大門の廻米

平澤玄米	一九六叺	西井里白	七五叺
天安玄米	四一叺	平澤白米	四五叺
天安玄米	二八叺	水原白米	五〇叺
鳥山白米	二七叺	水原白米	五〇叺
仁川大豆	二一七叺	仁川白米	二六叺
水原白米	一四〇叺	水原白米	一七叺
西井里麥	三九叺	水原白米	一九叺
平澤籾	五八叺	平澤白米	四〇叺
全磎白米	一九八叺		

仁川現物市場

△籾　入津尠々あり氣配は正米安に連れ二三十錢引緩みたる神力種五圓十錢忠淸道三圓八九十錢黃海道三圓四十錢出來

△正米　天候の回復と盗的にて糙正米の廻着あり移出口不引合の折柄附口に應ずるの餘儀なき成行となり爲に一時より四五十錢安を呈したり神力種九圓四十錢忠淸道地摺八圓九十錢黃海道八圓四五十錢にて商談行はれたるが本日は當用口より稍買望の氣配もあり一寸行止まり模樣となれり

生魚市場

仁川物は鯛を最多として鰛其他の魚を合せて相當の入荷ありしも釜山元山物の少數なりし爲め總荷總數は結局前日と大差なく從つて相當の變動なかりしも其内鰹は仁川郡山本浦物を合せて比較的多かりしに拘はらず人氣は前日に比し約二割高を示せり

タイ二四、サワラ一四、沖サワラ一四、スズキ一一、ヒラス一〇、ヤツ一〇、ハモ一〇、サバ七、アジ九、クルマエビ三八、モエビ一九、ニベ八、カツオ一〇、ハマチ二七、サヨリ八、メコ七、水イカ一四、サゴシ一五、アワビ一六、アユ七、シヤケ一二

仁川期米

▲二十一日前場　大阪前寄十一圓九十四錢と昨止より七錢安の入電當地當出來不申中八圓八十三錢先八圓八十三錢と五錢安に寄付二錢と一歩辷りたるも買物多く直に六錢さ戻れる折柄大阪三節八十七錢と安移りに賣物現れ一錢と新安値に崩れたるが賣物續かず五錢さ引締めて散會

▲廿一日前場　出來高三千二百石　△中限㊂八圓八十三錢三錢二錢三錢二錢四錢五錢六錢五錢四錢　△先限㊀八圓八十三錢四錢三錢二錢一錢二錢三錢㊃八十二錢三錢㊃八十四錢㊄八十五錢四錢五錢

仁川米豆取引所

廿一日の十一月限

前場	
寄附	八圓八十三錢
〆	八圓八十五錢
高値	八圓八十六錢
安値	八圓八十一錢
出來高	八千八百石

平均値段	
一節	八圓八十三錢
二節	八圓八十三錢
三節	八圓八十四錢
四節	八圓八十四錢
五節	八圓八十五錢

買賣取組高	
九月限	千四百石
十月限	七千三百五十石
十一月限	三萬六百石

二十日後場出來値	値	前日比較
寄附	八、八三	……
止め	八、八八	三安
高値	八、八九	三安
安値	八、八三	二安

青物だより

マツタケ	四〇〇	ゴボウ	二五
シンキク	六〇〇	ニンジン	四〇
ホウレンソ	八〇	コイモ	二五
メカナ	一五	メマチギ	五〇
シヤクシナ	二五	ハレイシヨ	一五
ミヅナ	二〇	サツマイモ	二五
ツクイモ	一五〇	ナツナ	一五
ナガイモ	一八〇	メマナ	四〇
レンコン	一〇〇	カブアナ	二五
ブウマメ	四〇	サドイ	二五〇
インゲンマメ	四〇	クロイ	二五〇
サヤマメ	二五	アチトリ	五〇
エダマメ	三五	キウリ	三〇
ダイコン	四〇	ナスビ	三五

●五倍子弗々出廻

五倍子は既に近在物弗々出初めしが何分歐洲需要の大部分を占め居れる獨逸の輸出不可能なる上内地には目下支那產にて約七八十萬斤の在荷停滯を傳へ居れる今日にて取引は一總氣乘りせざる模樣なるが間島新物中には前途の新販路を期待せると一つは出端といふ丈に昨今の取引は多少相場以上の望取りもあるらしく之等手口への出來は十四五圓處なれば之を前半出端に比せば先づ一圓内外の下値に當り居れり

●支那新棉先高

新棉は既に二三回の輸入あり相場は昨今十八圓五十錢唱へにて時期早の爲め未だ捗々しき取引なしと雖產地よりは暴風被害の結果本年度の產額約三割減を報ぜられ且つ最近に於ける米棉印棉大暴騰の影響を受け居れる折柄各自先高を見越し多少之等の見込買をも加へ可成りの荷動きを見つゝあり先約品は著元値の十八圓内外に付くといへば接荷は幾分價格の引締めを見るべきも愈々需要季節を迎へたる曉は今日の先高見越しが却つて在荷の過剰を示すに至らざるか

●燐寸は強硬

燐寸は内地高を受け人氣頗る强硬なるものあり現下の取引相場は手持品の關係上ボス當の二十六圓五十錢安全の二十七圓見當を持續しつゝある阪神相場との釣合上早晚今一圓方位の引上げを見るに至るべし

●松茸の入荷減少

松茸は其後降雨の無き爲め各產地共に發生不甚だと傳ふると同時に著荷は著しく減切減少し朝來の市場出荷は約二十貫目足らずと唱へられ一時に比し半數内外の著荷といふ丈に大に人氣を引立てたり出來値は上物一メ目四圓五十錢擱物二圓五十錢見當にて安値より一圓内外を引戻せり小賣としては百目六十五錢より擱物三十錢處なれば此際尚續いて晴天を持續するに於ては更に一段の高値を見るに至るべし

●牛皮は頑强

大阪方面は其後一般需要へ切らざる成行きなるも新潮軍需注文の噂さもある折柄同地の問屋の一部は頗る頑强なり

早耳筋の入込み各地が熱心に…此邊より…

大躍動

…一般の人氣も今や…振合ひに市況は…

極頑强の成行

…十二三圓處を以つてあるが前記事情の出廻りを控へ居る…向き成行き

▲鞘更に縮少

頃日來大阪の…何なる展開を來すべき…暴落に次ぐに漸落を報じたるも當地は今の硬化にて下支へたるより大阪との鞘今前場に至り遂に大阪の八十七錢に對し八十五錢と二圓〇二錢迄縮少するに至れり

▲下げ澁り原因

大阪の底拔け正米の不勢を受けて安かるべき筈なるに仁川市場は存外下げ澁り居れり今是か原因と見るべき者は

▲今筋硬の硬化

前場先限りは見送り居りたるも中限に三千二百石の利喰買を發し尚賣物あらば買はん氣勢であつた元中限を買過ぎたらば先限は全然買持ちになるのである下値滯しき爲め軟軍の警戒して賣り乘せ來らざる事の

硬軍の頑强

買据へ居る事等にて相場の下げ澁り居るより利の有る者は自然利喰急ぎとなり勞買物多く是等の事情にて如何にも底強き成行を示し居ろか果して今後如何なる結果を見るべき

田中… 仁川米豆取引所仲買人 仁川仲町三丁目 電話長六二八番 一五二番

●解警戒

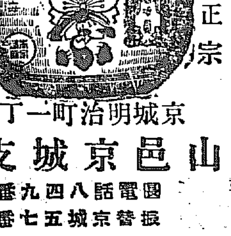
南部の警戒を解く　午前九時二十分發

小兒科專門　内科
京城旭町三丁目（元十全病院跡）
若槻醫院　電話二四六二番
ドクトルメヂチーネ　若槻寛隆

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

婦人科　產科　入院分娩應需
京城旭町壹丁目　院主　衣笠茂
中央婦人病院　電話二三四〇番

比較は最良の撰擇法なり？
サクラ正宗　サクラ正宗



京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替京城五七番

食料品雜貨
京城旭町一丁目（電話八四二番）
食料品　果物　青物　海產物
問屋岩城馨商店　振替口座京城（一〇八六番）
南大門市場卸部

朝鮮煙草株式會社
조선연초주식회사
경성의주통
電話
雨切煙草　パラダイス　十四本入　金貳錢
雨切煙草　コスモス　二十本入金貳錢

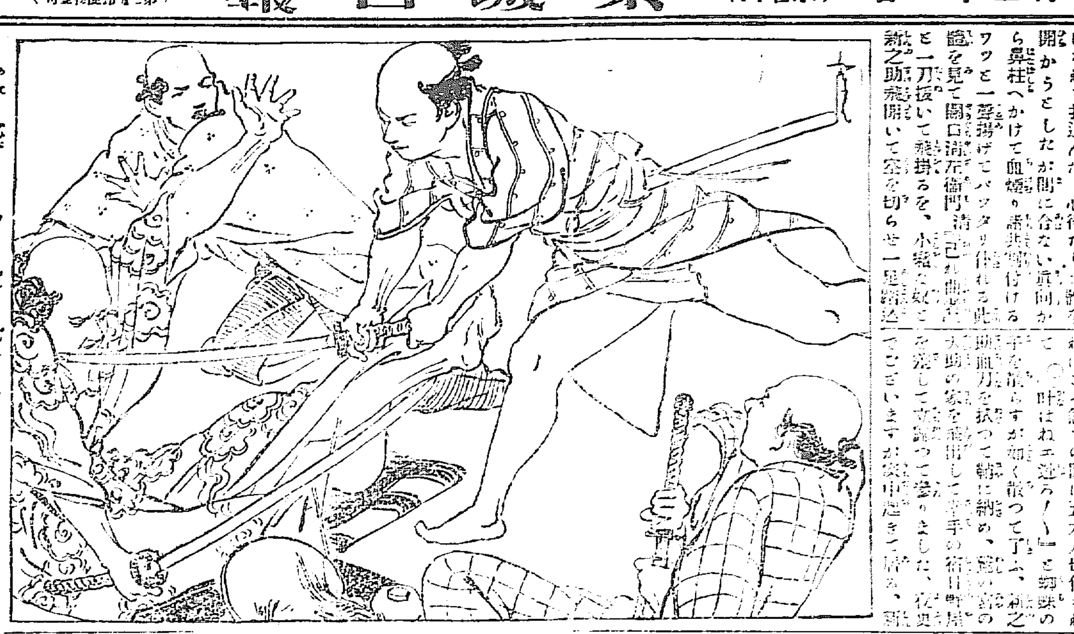
入院隨意
泌尿生殖器科　皮膚花柳科　外科
安部醫院
京城永樂町二丁目（金光教會隣）　電話四一九番
診察時間午後九時迄　院主　安部修三

模範的設備完成
技術優秀　價格低廉
名刺判一組五十錢より
菊田寫眞館
共進會寫眞は長さ六尺迄用寫眞特に引伸
武橋町（舊太平町）　電話一八三番
破格減價

大岡政談 越後傳吉

第百六十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



鷲の宮の大助は新之助を見るより大『何をッ』といつて一刀ギラリと引拔く所を踊掛つた新之助一刀の柄に手が掛ると拔手も見せず眞向から二ツになれと打込んだ、心得たりと體を開かうとしたが間に合ない眞向から鼻柱へかけて血煙り諸共切付けるフッと一聲揚げてバッタリ仆れる此體を見て關口清左衛門、清『己れ曲者』と一刀拔いて飛掛るを、小癪な奴と新之助飛開いて空を切らせ一足踏込んで右手の腕をバラリ切つて落す、アッといつて仆れる所を飛掛つて右の肩先から左の乳の下へ掛けて袈裟掛けに打放した 女『アレー皆な來てお呉れ』といふ女房の聲に乾兒の面々十四五人得物／＼を持つて驅付ける、血刀を揮つた新之助が 新『サアもう斯なつた上からは彼奴も此奴の用捨はねエ、日野屋の倅新之助が娘重なる鷲の宮の大助を切殺した、一家の奴等は此處へ出て尋常の勝負をしろ、片ッ端から叩切つて屍骸の山を築いて呉れる』と大音聲に呼ばはつた、是を聞いて乾兒の面々『ソレ親分の敵だ、疊んで了へ』と八方から打つて掛る、新之助も無慾の殺生とは思つたが仕方がないから血刀を揮つて大勢の中に飛込みバッタバッタと切立てる、何しろ直眞陰流の達人提溜四郎左衛門の高弟でございますから大したもの、手に立つ奴があればこそ忽ちの間に五六人切仆されて『叶はねエ逃ろ／＼』と蜘蛛の子を散らすが如く散つて了ふ、新之助は血刀を拭つて鞘に納め、鷲の宮の大助の家を飛出して元手の宿日野屋を指して立歸つて參りました、夜はまだ明けずお家中起きて居る、新之助の跡が遲いから案じて居りますると『ヤア若親分がお歸んなすつた』ムヽ『親分、新之助親分がお歸りになりました』藤『さうか其は宜かつた、』藤右衛門出て來て 藤『ヲウ御苦勞だつた大層遲いから心配して居たおきみも案じて居る』き『貴方どうなさいました』新『少し仔細があつて手間取つた、親父さんまア奧へいつてお話いたします』跳足だから水を呉んな』乾兒が水を持つて來る、足を洗つて上つて奧へ入つて 新『親父さん、只今歸りました』藤『ヤッお前顏をどうした、オヤ衣類にベッタリ血が附いて居るぜ、コリャ大變だお前手荒な事をしやアしねエか』新『實は親父さん大助の所へ參りまして話をした所が是々斯々いふ挨拶男の顏へ疵を付けました、其でも私は穩便に濟ます積りでございましたが今夜是々の譯で』と茶屋の踊りに乾兒の話を聞いて決心した事から大助の家に取て跳して大助を初め關口清左衛門乾兒の者を五六人切つたといふ話をいたし 新『どうも之も物の行掛りで據所ございません、私も親父さんに永な御恩になりまして、御恩報じもしない間にかういふ間違ひをいたしまして殘念でございますが今となつては據所ございません之までの御縁と思召して私の代りにおきみを娘と思召して下さいまし、私は潔よく腹を切つて死にますから』藤『マア／＼マア待つて呉れ大變な事になつた、併しどうも之は仕方がねエ、お前も己の身を思つて大助を手に掛けた其志しは忝けない出來た事は取返しがつかねエきア／＼死ぬのは止して呉れ、今お前が死んだ處で犬死だ其より・・先ゝ何處へでも落て呉れさうして餘熱を冷まして歸つて來て呉れ、八州のお役人で佐々木孝之進といふ方は己が懇意の間柄、またさうにでも都合んで話しは付ける、後の

復讐又死

事はいゝから少しも早く立退いて呉れ、エ、新之助宜いかエ』新『へエ有難うございます、御志は分りました併し後で御離儀をなさると』藤『そりや決して心配しなさんな年は老つても日野屋藤左衛門だ、ブン縛られて泣ッ面をするほど老碌はしねエ、己の弟分で越後高田に居る富田屋長五郎、今は高田でも宜い顏になつて居る、己が手紙を書くから此手紙を持つて行つて當分居るようにしさい、マサカ高田まで手の届く氣づかひはねエ、また萬一の事があつても富田屋が付いて居りやア大丈夫だおらさうしな』と流石老年だけに能く後を考へての意見。

衛生 外毒除防 男女必需品
サックは男女衛生上の必需品にして之を用ゆれば外毒傳染の憂なし婦人方はサックを用ゆれば經水の濕渡を防ぎ立居を便ならしむ
東京深川區扯丹町一 發賣所 山中ゴム商店
取次販賣希望者は三錢封入申込あれ

最もよくきく松本の ぢの藥
内用 痔疾丸 十五錢 三十錢
外用 痔漏膏 十五錢 五十錢 一圓
本舗 東京日本橋區本町 藥品問屋 松本長春堂

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法を御知らせ致します
東京神田錦町三ノ一九 窪田けい子

演藝案内

詩 館 電話一〇五〇 町
常る十五日初日の筈なりし内地大入の爲め三日延會十八日開演仕候 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番
九月十六日より [illegible] 新派大悲劇 [illegible]

浪花館 明治町 電話 [illegible]
[illegible] 今晩の讀物 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三 [illegible]

御成座 御成町 電話一九一
九回替藝題 二十二日替り藝題 [illegible]

有樂館 本町 電話二六六 [illegible]

佐久良座 龍山
大阪若手歌舞伎俳優大一座
▲當廿二日第四日目狂言 前狂言『黑田騷動』 ▲中狂言『心中天網島』小春治兵衛おさん小春早がはり ▲切狂言『鎌倉三代記』三之助別れ
▲入場料 特等一圓、一等七十錢、二等五十錢、三等卅錢 毎日午後二時開演仕候

公告

大正四年五月以後當院平壤出張所、安城出張所、黄州出張所、金良場出張所、利川出張所、張所及其ノ他法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報及每日申報ニ揭載ス
大正四年八月二十六日
京城地方法院

一、鑛外五點 右五百八立坪
右割栗石 一、九月十六日以後ノ朝
鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

帝國軍艦拜觀御希望ノ各團體ノ御方ハ仁川着二十三日以前ニ必ス人員御名簿ニ申込相成度右記入ノ上左記ノ個所ヘ御申込被下度此段御告候也 [illegible]
大正四年九月
仁川協贊會

滿蒙處分論 [illegible]
京城日報代理部 [illegible]

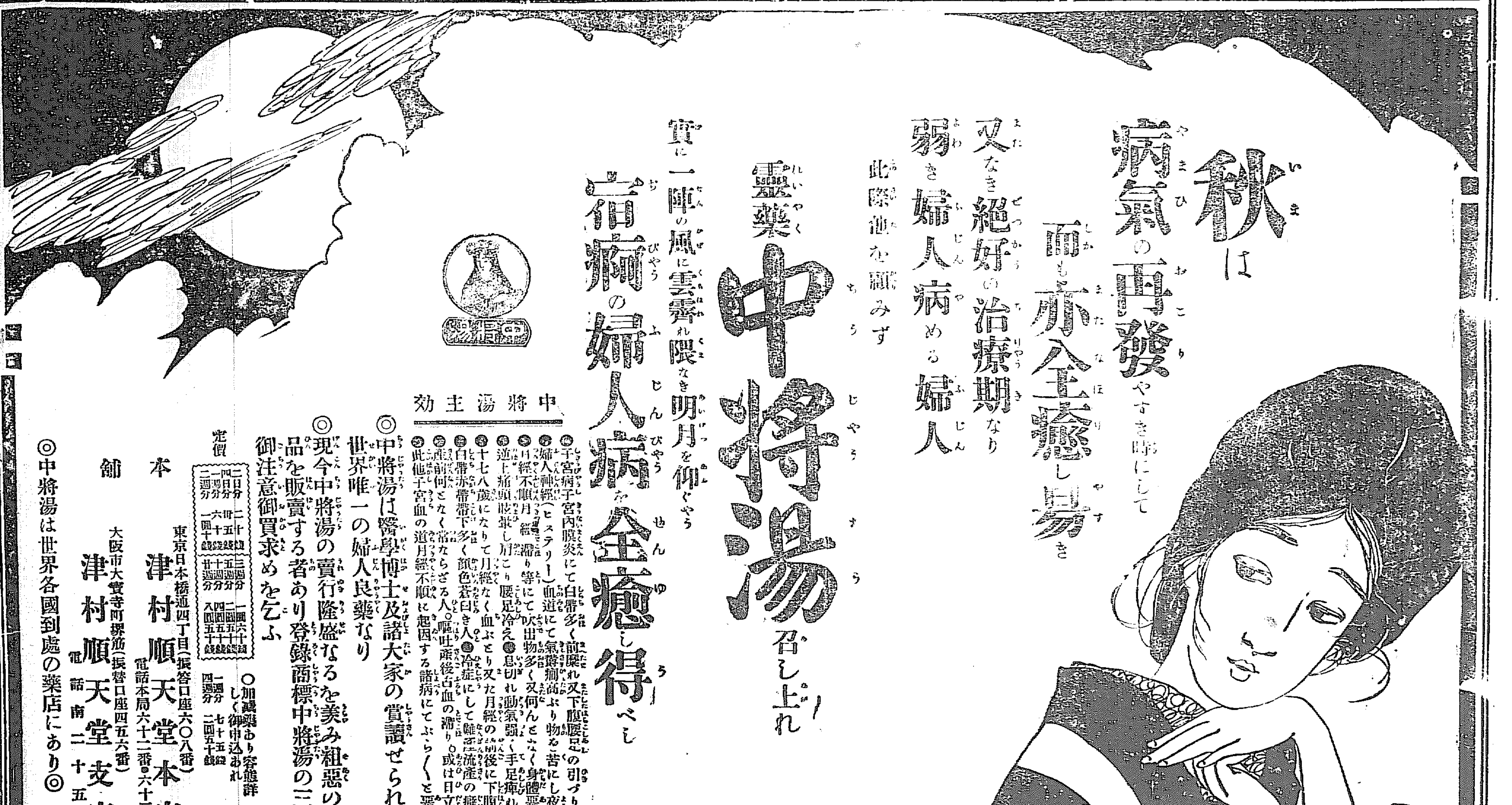
右者都合に依り解職致候に付自今本社に關係無之候
大正四年八月三十一日
山口甚作
徴兵保險株式會社

朝米
定期米の賣買注文は紹介を要せず前金市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人
入江商店
電話東 長 二一七九六 三九五 二六一

大興 書報 代無 進呈
奉祝旗と日章旗 [illegible]

鳥都 [illegible]

急告
梅毒専門藥唯一丸
梅毒胎毒横根痔瘻より來る病毒は毒菌を撲滅すると共に安全に體内より除去すべき靈藥により其目的を達す
現今梅毒藥其他の劇作用を起さず此兩特效を併有するは梅毒専門藥唯一丸なり
此良藥により不安を去られよ
●全國有名藥店にて販賣せり
梅毒養生法 無代進呈 送料四錢
發賣元 中西藥局
東京市牛込區 [illegible]



秋は病氣の再發やすき時にして
而も亦全癒し易き
又なき絶好の治療期なり
弱き婦人病める婦人
此際他を顧みず
靈藥 中將湯 召し上れ
實に一陣の風に雲霽れ隈なき明月を仰ぐやう
宿痾の婦人病全癒し得べし

中將湯主効
◎子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前屈れ又下腹腰足の引づり痛む人
◎婦人神經（ヒステリー）血道にて氣鬱癇癪ぶり物ごと苦にし夜眠れず
◎月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
◎逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え◎息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
◎十七八歳になりて月經なく血の道又は月經の前後に下腹痛む人
◎白帶赤帶下多く顏色蒼白き人◎冷症にして難産流産の癖ある人
◎産前何となく常ならざる人◎嘔吐産後古血の滯り○或は日立惡しく
◎此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら／＼と惡しき人

◎中將湯は醫學博士及諸大家の賞讃せられたる世界唯一の婦人良藥なり
◎現今中將湯の賣行隆盛なるを羨み粗惡の僞造品を販賣する者あり登録商標中將湯の三字に御注意御買求めを乞ふ

定價
二日分 二十錢 四日分 卅五錢 一週分 六十錢 二週分 一圓十錢
三週分 一圓六十錢 五週分 二圓五十錢 十週分 四圓五十錢 廿週分 八圓五十錢
一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢
○加減藥あり容體詳しく御申込あれ

本舗
東京日本橋通四丁目（振替口座六〇八番）
津村順天堂本店
電話本局六十二番・六十三番
大阪市大寶寺町堺筋（振替口座四五六番）
津村順天堂支店
電話南二十五番

◎中將湯は世界各國到處の藥店にあり◎

京城日報

第三版

年中無休刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五拾錢 郵税一ケ月金拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人 ……田直 印刷人 ……政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

朝鮮開發の五年

五 財政と金融（六）

金融機關の發達

總督政治の布かれて諸般の施設改善の緒に就き仁政の恩澤半島に洽く産業の進歩に伴ひ經濟の發展著しきものあり。而して併合以前朝鮮に於ける商業の萎微振はざりしは主として金融機關の不備に基因するものなりしが、併合後産業を獎勵し財政を整理し銳意經濟の發達を圖りし結果金融機關に於ても年を逐うて整備し漸次隆盛の機運に向ひ、經濟の中樞神經たる重要の職責を盡して遺憾なからむとす、財界の爲め欣ぶべきなり。

今朝鮮に於ける金融機關發達の趨勢を敍せんとするに先だち併合以來の大勢を記さんに、併合の年即ち明治四十三年末に於ては各種の銀行本支店の數十一、支店の數五十九なりしもの大正三年末に於ては本店十八支店八十三の多きに達し、地方金融組合は明治四十三年度末には其數百十七に過ぎざりしが大正三年度末には實に二百三十を數ふるの盛況を示せり。而して各種金融機關の總預金高を見るに、併合當年の四十三年末に於ける總預金は六千三百六十六萬圓なりしも、大正三年末には一億五百二十一萬圓となり、差引四千百五十五萬圓の激增を示し、又諸預金に於ては千五百十二萬圓、農工及び拓殖資金其他の諸貸出に於ては三千六百二十萬圓を增加せり。以て經濟界發達の一班を知るべし。

中央金融機關

朝鮮銀行

朝鮮に於ける中央銀行として半島金融の樞軸を握るものは朝鮮銀行なり。同行は其の前身を韓國銀行と稱し、明治四十二年十月韓國銀行條例の下に設立せられ、併合後即ち明治四十四年三月朝鮮銀行法の發布に基き朝鮮銀行と改稱して今日に至れり。初め韓國に於ける中央金融機關として明治三十八年以來株式會社第一銀行之に當り、銀行券の發行、貨幣の整理、國庫金の出納等の事務を取扱ひ來りしが、明治四十年七月日韓協約成り、庶政面目を一新し、其財政は膨脹し、經濟界は益々發展の氣運を呈すると共に、國內の金融機關を統一して之れが中樞たるべき特立中央銀行の設置は內外朝野の急務と認むる所となり、日韓兩國政府協定の結果韓國銀行の設立を見、後朝鮮銀行と改稱するに至れる也。

朝鮮銀行の資本金は一千萬圓にして、之を十萬株に分ち一株の金額を百圓とし內三萬株（三百萬圓）は政府に於て之を引受け、政府持株は法律上讓渡するを得ざるを以て實際取引の目的に供せらるゝ同行株式は七萬株なれども、此內皇室李王家及び諸銀行會社の所有に屬するもの多數なるが故に、市場に浮動せる株式は比較的僅少なり。而して創立の際四分の一即ち二百五十萬圓の拂込を受けて業務を開始し明治四十四年四月更に其四分の一即ち二百五十萬圓の拂込を行ひたるが、朝鮮の貿易が未曾有の輸移入超過を示したる爲め決濟資金の需要巨額に達したると朝鮮經濟界の發達とは重ねて拂込の必要を來したるを以て四十五年四月又二百五十萬圓の拂込を爲せり。然るに爾來二箇年間業務益々發達し、支店の增設、業務の擴張に伴ひ更に資金の充實を必要とするに至りしを以て、大正三年八月內地金融界小康の時機を以て第四回拂込をなし、茲に資本金全額の拂込を了せり。

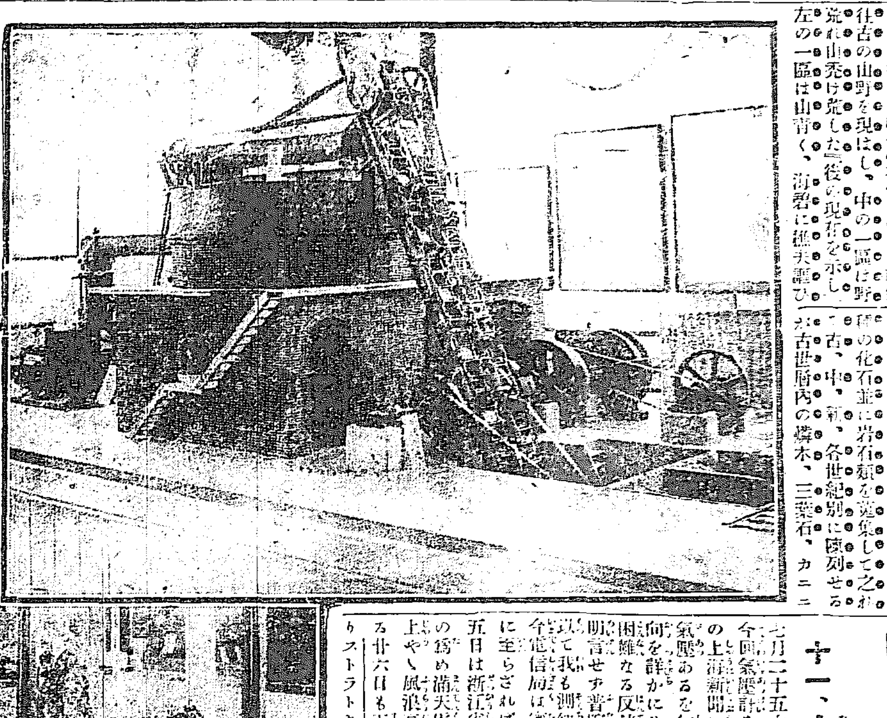
大共進會 出品概觀（九）

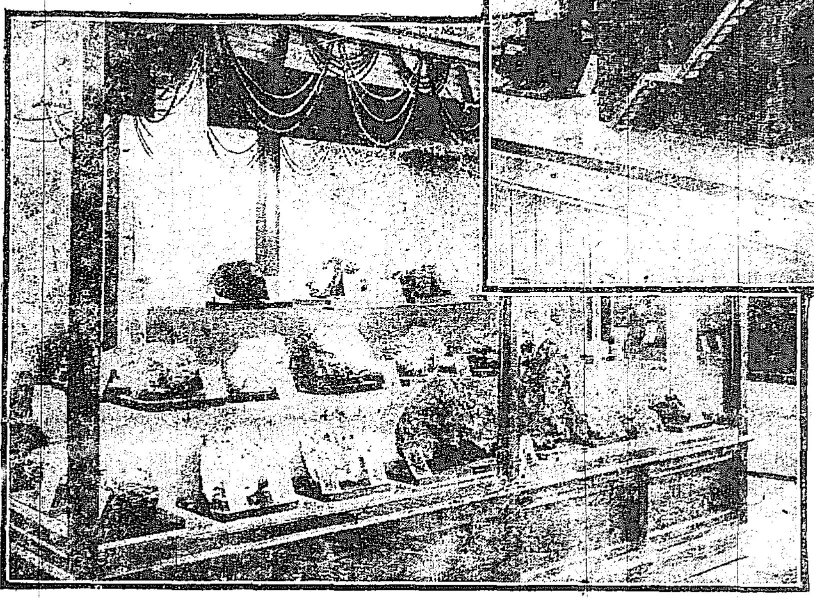
第一號館（林業）

▲治山と産業關係

壁に沿へる北手の一帶は林業に關する各種の參考品を陳列せり、其內殖林業者の出品に係る記述類、寫眞、用具並に副産物等を蒐集せる硝子戶棚は當業者に取りては好個の參考資料たるべく、就中江原道金化郡李鳳徵の如きは有識者の推稱措かざる造林上の功勞者にして其出品は殊に矚目の價値ある可し。

松蛅蟖の被害狀況を示せる西手には四阿式建物の一部を設らひ竹編を隔て遠く山野の狀況を望ましむ、其山野は四周の柱と柴垣によりて三區に分かれ右の一區は『森林のめぐみ』と題して昔ては樹木鬱茂し居たる朝鮮往古の山野を現はし、中の一區は野荒れ山禿け荒した『役の現在』を示し、左の一區は山青く、海碧に魚躍び漁夫舞ふ『植林後の利益』を表はせり。此光景は模型と油繪より成り三區と同一の個所を寫して上部には各區の說明なる日本文及び諺文の說明を附し、觀覽者をして一見治山の事蹟が其地の風土及び産業と如何に密接の關係あるかを會得せしむると共に植林事業の一日も忽諸に附す可からざるを了解せしむ、總督此處を巡覽して滿足禁ずる能はず左右を顧みて頻に其結構を稱贊したりといふ、左もある可し





（上）第一號館鑛業部（下）平壤鑛業所の煉炭製造機模型金銀鑛陳列戶棚の一部

第一號館（鑛業）

▲壁へ沿へる觀臺

林業館を出で勸業部門前を横り再び一號館に入れば第四部鑛業にして第十九類鑛物及地質、第二十類鑛業の方法及び成績の二類に分ち合計七百六十七點を陳列す、入口の左側より壁に沿うて小通路を一周せば東手の飛驒の壁には鮮內に於て發見されたる諸種の化石並に岩石類を蒐集して之れを古、中、新、各世紀別に陳列せるが古世層內の擬木、三葉石、カニア海百石の如きは稀有の化石にして地質學者の垂涎措かざる所なり、又た鐵、滿俺、重石の三大鑛石を置きたる東南の隅より南手は觀臺及び陳列臺を並べ、覗き臺には裝飾石材を網羅し陳列臺には建築石材、スレート、硯材、砥材、滑石類、陶土等を蒐集す、此附近一帶の壁間には既往五箇年間に於ける總督府鑛床調査の鑛床圖を掲げ其中間には明治十八年より同四十年に至る朝鮮地質鑛産圖及び最近の調査に成れる朝鮮鑛泉分布圖表を吊せり、其れより西手は左右とも硯臺を置きて雲母類、結晶品、耐火材料其他の雜鑛物百數十點を陳列す

避暑漫筆

大谷光瑞

十一、大風（承前）

七月二十五六日には我普陀山に在り今回氣壓計を攜帶せず七月二十四日の上海新聞により本邦先島列島に低氣壓あるを知ると雖も據るより進行方向を詳かにせず氣象臺長も例の最も困難なる反轉區域なるを以て進路を明言せず普陀は電信局を有せざるを以て我も測知する方法を缺ぐ（最も寧波の電信局は普設にして汽船にて翌日に至らざれば達せず）加ふるに二十五日は浙江省より東行せる小低氣壓の爲め滿天雲多し二十六日に至り海上やゝ風浪高く東風の勁吹せるを知る廿六日も天氣雲多し、廿七日に至りストラトキュムラス雲漸く加はり風位北東より來り波浪增高し所謂蘇長公の破車雲なるものを拜見するの榮を得たり幾千輛の砲車は六隊に組しマッケンゼン元帥の指揮の下にプリンホルムの鐵道線路を突破せんとするが如し、晩來風力愈加はり微雨時に間る大風中心進路は正に我に近かんとするを知るを以て稍警戒を加へ寢室を他に移し夜間猛風怒號の爲め客夢を驚かさらしむるの豫防をなせり、夜九時頃に至り風位を檢するに猶北東を變せず風力は機械を有せざるを以て知り難しと雖も毎秒十八九メートル前後にある如く感せらる。是時中心は正に我が南々西の若干距離にあるもの如く中心は我の東方を通過するや西方を通過するや全く不明にして一切氣象器械を有せざるを以て其指度方向皆不明にして唯恃む所は風位と風力にあるのみ夜十時半寢に就く半夜夢驚けは家屋動搖し寢室亦安定ならず徐かに風位を考ふるに北東より東の間に在る如し而して風力は二十五六メートルを超ゆるが如し時にガラス窓の破壞する音と屋瓦の地に飛ぶ音と相雜り甚噴雜なり萬一の危險を慮り隨行の學生等を喚起し寢室を別室に移さんとす我租借せし房は二階にして東北東に面するを以て最も風力の衝に當れり故に別房のやゝ閑なるに至らんとし毛布を攜へ階段に下り客殿に至る客殿は四閣皆家屋にして風力至らず閑靜なるを以てこれを撰べり時に寺僧僕三五灯を攜へ至る我危險の至るを告ぐ同宿の支那人を喚び皆客殿の安全地に避難せしむ時に二十八日午前二時より三時に至る間なりとす風位はやゝ東轉せしが如し東の四分一圈より來り風速は更に加はり三十メートルを超ゆるが如し（未完）（大連にて）

日報俳壇

雉子郎選

魂祭
魂棚の灯影に古稀の母淋し 韮城
不和なりし亡き伯母ありぬ魂祭 同

墓參
墓參人に提徑ありぬ草の數 橙黄子
墓參人に日脚早さよ前の山 同
憎みしが畏敬の念に展墓哉 同

燈籠
燈籠や母に敎はる祖先の碑 義朗
燈籠や更けて聲ある藪の家 同

踊
踊更けぬ月を包まで去りし雲 容堂
踊太鼓浪に響けと打ちに發 橙黄子

花火
花火浴びて客を得ぬ舟ありぬ 沛子
暗に獨り花火見入れば池魚躍る 韮城

秋の蚊帳
押され寢し蚊帳の別れや寮の僧 義朗
恙ある妻に夜起く秋の蚊帳 山民

相撲
松籟は知らず相撲へる人輪哉 橙黄子
相撲ひしが皆潮浴びる夕日哉 同
辻相撲に入相者の廻りけり 青扇
別れしが鼻血迸る相撲かな 容堂
村相撲や脆く負けし憎まれ子 潮外星
郷の名を盛衰に負ふ力士哉 沛子
大黒子ある大關や村相撲 廿村

燒米
燒米や返事思へど疲れ寢る 橙黄子
燒米や代筆頼む隣の子 同
燒米や案內さし來し客の胡座 同
燒米や縁に蒸する鶏憎む 韮城
燒米は乳母の里より屆き兇 山吹女

秋扇
譜讀も或時悲し秋扇 橙黄子
秋扇や孥るを避けて遊び居る 同
忘れ來し扇に心迎る家 容堂
蛾俄かに減りし山居や秋扇 雉子郎

大阪三品

大阪期米特電（廿一日）
△後場 當限當付十一圓五十三錢△中限當付十一圓六十二錢△先限當付十一圓八十八錢

仁川米豆取引所
△廿一日後場 △大阪前止八十六錢後當八十八錢の入當當地當中限不申 先八圓八十六錢さ一

▲更に動かず

▲市場は閑散

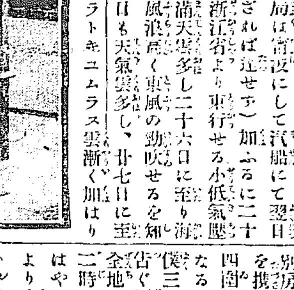
二十一日の十一月限
後場寄 八圓八十六錢 引 八圓八十七錢
九月限 賣買取組高 千四百石

廣江の一円デー

▼マタと如此機會ありや
本日午前九時より午後十時まで▲

京日主催 家庭博覧會へ
御入場の各位に御土産進呈

壹圓票を貳袋差上升



一袋金貳錢五厘
二袋金五錢

大人氣大好評の家庭博が
半額で見られる

▼入場券（金拾錢）を本二十二日（晝夜共）家庭博覧會場前入場券賣場でお購めになれば入口で漏れなく御土産を進呈します

▼スグに御出掛なさい
廣江黨の大福音▲

廣江商會

議論激烈 北京の兩會議

二十日午前總統府大會議は意見一致せず不得要領に終れり又午後の參政院茶話會は審査報告後國體問題を參政院が直に處決す可しと激烈に議論する者ありたるも結局審査員の起草せる報告文を基礎として本問題を國民會議に於て處決す可しとの建議文を作成したれば各公認請願書を併せて直に政府に上申することゝ決定し茲に本問題は愈々公然政府の手に移る可し（北京特電）

肅政廳會議反對

二十日肅政廳會議あり國體變更には飽くまで反對するに意見一致せり（北京特電）

奉天の大典記念

在奉天日本人官民は聖上御即位記念の爲め神社建設に決し之れが經費七千圓の寄附を募ることに決し明治天皇を勸請し奉る豫定也（奉天特電）

再査定案解決

大正五年度豫算編成に就き武富藏相は日各省提出豫算概算總額は約五億九千五百萬圓也しが其中大藏省に於て査定の結果約四千萬圓を削除したるものを査定案とし閣議に提出したるは歳入出共五億五千五百萬圓なりしに各省は右査定案に對する復活要求燃んなりし爲め更に各省より提案を求め交渉することに決し爾來折衝を重ね再査定案成立したるに依り十七日の閣議に上し無事解決を告げたり其の決定額は五年度一般會計豫算に計上せられたるものは歳出入共五億五千八百萬圓にて即ち第一査定案に比し約三百萬圓の増加なり此の増加額は特別財源として砲兵工廠益金、土地賣却代金とを繰入れ各省より新規要求を爲すに當り更に財源を捻出して提供せしもの若干額を繰入れ計上せり而して各省新規要求の重なるものは外務所管に於て蒙古赤峰領事館及び鄭家屯外四箇所領事分館新設費、陸軍所管に於て兵の訓練に關する設備費空砲用機關銃設備費海軍所管に於て軍費補充追加（其額四千五百萬圓初年度は五百萬圓）航空隊新設費その他農商務の鑛山監督費逓信の電氣機械器具材料檢査費、電話擴張費等なり本豫算は財政窮乏の折柄極めて消極的編製なるも一面より見れば海軍補助費追加を始め各省年來の懸案に向つて多少の解決を與へ稍滿足なる成績を得たるを信ずるものなり（東京特電）

砲兵支廠設置

陸軍省にては露國政府より多數軍需品の注文を受け砲兵工廠のみにては製造旺に合はざるより各地の製鐵所をして請負しめ居れるが東京砲兵工廠にては此の機會に乘じ大擴張を試みん計畫を爲したるも現在の位置にては絶對に其要求に應じ難きより横須賀に支廠を設置することに内定したる由なるが事極めて秘密に屬し其位置すら窺知すること能はざるも同市不入斗なる重砲兵第一第二聯隊を同佐野町に移轉し現在の建物全部を其儘支廠に使用する事となる可しと（東京特電）

宮殿下御暇乞

閑院宮殿下には來る二十三日東京御出發、朝鮮に向はせらるゝに付き二十一日午前十時三十分御參內 天皇陛下に御對顏御暇乞を言上あらせられたり（東京特電）

對議會方針協議

二十一日は閣議定日に付き午前十一時より大隈首相以下各相參集外交、軍事其他各所管事項の報告ありたる後主として對議會方針に就き協議を凝せり（東京特電）

陸軍將校昇級

二十一日陸軍部內に昇級異動ありたり其主なるもの左の如し（東京特電）

任陸軍步兵大佐 陸軍步兵中佐 奧野英太郎
任陸軍步兵大佐補四十八聯隊長 陸軍步兵中佐 山下五三郎
任陸軍步兵大佐 陸軍步兵中佐 安藤 晋
補朝鮮駐剳軍參謀 陸軍步兵大佐 吉永 狂義
待命被仰附 陸軍步兵大佐 松前 正義
同 少佐 廣瀨 俊郎
同 中尉 寺島 謙一
依願豫備役被仰付（各通）

海軍將校異動

二十一日海軍に異動あり其主なるもの左の如し（東京特電）

補第三戰隊機關長 海軍機關大佐 大沼龍太郎
補軍司令部出仕 同 木村 貫一

陸軍次官渡鮮

大島陸軍次官は始政五年記念朝鮮物産共進會視察の爲め來る二十六日午後四時東京驛發汽車にて渡鮮の途に上る由（東京特電）

淵澤學監敍勳

私立淑明女學校學監淵澤能惠子女史は多年女子教育に盡す所ありしが今回病氣危篤の趣き天聽に達し左の如く敍勳の御沙汰を傳ちれたり（東京特電）

敍勳六等授寶冠章 私立淑明女學校學監 淵澤 能惠

記者團釜山發

記者團一行は豫定の如二十一日午前十時半輕鐵臨時列車にて釜山發十二時四十分東萊著溫泉に入浴後午餐を調め後庭園における園遊會に臨み數十名の內鮮藝妓韓妓生の舞踊あり喝采を博す園遊會散會後再び溫泉に入り午後六時十分東萊を發し七時釜山著構內鐵道ホテルに於ける歡迎會に臨み九時散會す一行は二十二日午前八時小蒸汽にて港內を巡遊し十時半發急行列車にて京城に向ふべし尚坪谷水哉石川半山兩氏の外二十餘名以外の殘員は二十二日九時釜山著の豫定なり（釜山電話）

東京發別電

國際關係調査

大隈外相は外務の高等官全部へ歐洲戰後の國際關係を調査せしむ

學制案發表

二十一日新學制案發表せらる

米價暴落

米價益々暴落す

獨墺軍巴爾幹に入す

勃國の態度決したる爲め獨墺軍はバルカン半島に侵入することを中止す

三井石炭會議終了

十三日來門司に於て開會中の三井物產會社石炭會議二十一日終了す（門司特電）

前淸皇室の移轉

前淸國皇室は明年一月を以て萬壽山の前皇居に移轉すべし

砲兵工廠支廠新設

砲兵工廠は這回新に横濱不入斗に支廠を設け露國の軍器品の注文に對し日夜製作に從事しつゝあり

二代議士保釋出獄

一萬圓事件に連座し高松監獄に收監中なりし日向、根岸、及び岡の三代議士は二十日保釋を許され出獄したり同被告中は竟に保釋を許されず

朝鮮大共進會

▲結構な共進會だ

第一生命相互保險社長 矢野恒太氏談

私は朝鮮は初めてである、京釜線を夜行で來て共進會を一通り見物し今日は昌德宮の博物館を參觀した位で朝鮮について話す程の材料をまだ有つて居らぬ、只昨日今日の私の頭の中にチラリと閃めいたものを一つ二つ申して見れば

■成る程今回の共進會は規模に於ても設計に於ても大したものだ、何しろ朝鮮ありて以來初めての盛擧であるから朝鮮の人は隨分驚ろくだらう、此ういふ處では最も有益な計畫であつて今後も適當の時期を劃して之れを催ほし朝鮮開發の進步を示したら利益するところは甚だ大きいと思ふ、會場に充てられた景福宮など實に結構なもので、東京などであんな場所は探しても無い、誠に此の大共進會は場所と謂ひ設備と謂ひ申分のないものである、景福宮でも昌德宮でも

■宮殿樓閣の立派なるには驚ろいた、樓門と云ひ殿宇と云ひ其建築の堂々として規模の大なる流石に朝鮮古代の技術は假令支那の流風を混じて居るにしても實に感嘆に値し、彼の光化門の如き今日文明的な裝飾を施こしてもチヤンとそれが適應して居る、微細な部分に至ては日本の健築ほどに美事では無いが大體の形に至りては何處に難癖の付け所もないのである、又古代美術の如き吾々素人の眼で見ても如何に一千年前の朝鮮が進步して居たかを知るに足る、思ふに朝鮮人は遠い昔は充分

■工業國民たるの資質を有つて居つたのであるが、不幸にして李朝以後折角の長所が進られたのであらう、今日と雖も工業的資質は確かに有ると私は信ずる、若し是れを適當に啓發誘導したら著しき進步を示すであらう、未だ朝鮮を詳しく見ぬが共進會に就て大體を窺ふ所によれば新政以後の朝鮮に於ける人民は其れ以前に於けるよりも非常に幸福な境遇に生活することを得たとは私の信じて疑はぬ所である（二十一日談）

米價調節と鮮米の將來 兎角の風評は無根なり

久しく東上中なりし人見農務課長の歸來談に曰く農商務省に於て目下講究せられつゝある米價調節の計畫に伴ひ世上には朝鮮米の內地移入に對する關稅の復興、移入制限、若くは代用米の撤廢等各種の說を爲す者あり、隨つて種々の流言、蜚語行はるゝやに聞くも農商務省に於いては最早斯かる僻論は斷じて起らざる可きを信ず、當業者は意を安じて可なるべし

東西南北

▲內地で金の通らぬ村 宮城縣加美郡小野田村の內柳[illegible]里餘にして漸く人家を發見したのには呆れた谷間に二三の人家を發見したの[illegible]で立ち寄つて握飯の包を解き副食物[illegible]下關人跡[illegible]らしい段々容子を訊いて見ると山中には[illegible]八戶の住民がある許りで互に有無[illegible]融通してゐるから金錢杯は必[illegible]

[illegible]海道室蘭日本製鋼所字井文治と言ふが室蘭港岸の字チヤラナイで遊獵を試み一羽の猛鷲を擊ち取つたそれを[illegible]らぬ其中友人の誰彼の枕許に夢となつて現はれ鷲を擊ち取つた個所に死んで居るから死體を收容して呉れろ[illegible]

警長異動せす

立花警務總長は十月を以て定年滿期となる可き第六師團長梅澤中將の後を襲うて師團長となるやの說を爲す者あるも總長は今日の處異動なしと

仙石貢氏渡鮮

前鐵道院總裁仙石貢氏は十月一日擧行の筈なる始政五年記念朝鮮物產共進會開會式に參列の爲本月下旬東京出發渡鮮す可き旨其筋に通知あり

水先令の發布

朝鮮水先令の發布に就ては豫て遞信局に於て審議中なりしが二十一日制令第五號を以て發布されたり、全文二條より成り其大要は、朝鮮に於ける水先人に關しては水先法第二十條の規程を除くの外は全部內地に於て制定せられたる同法に依るものとし同法中海員懲戒法とあるは朝鮮海員懲戒令、主務大臣とあるは朝鮮總督海員審判所とあるは朝鮮總督府海員審判所とす、而して朝鮮總督は水先人六十年を超ゆるも共業務を營むに適すと認定したる時にありては五年以內の效力を附したる水先免狀を授與することを得と云ふ特例を開きたれども本令は未だ施行期日を定められざる者に對しては特に試驗を用ゐずして特定の水先區に限り效力を有する水先免狀を授與することを得

芝罘排貨冷却

既報の如く芝罘に於ける排日貨は他地に比し極めて頑强なるものあり七八兩月間には全く日本品の輸入杜絕するに至れるは關統計の明示する所なるが最近に至り漸く軟弱となり遂に石炭取引商にては排貨の迷を覺りて斷然日本炭の取引を開始するに至り一石炭商は三井の手より日本炭の物入船すると共に他の石炭商にて買約を爲すに至り旬日ならずして荷約成立する事となるべく排貨は漸次商炭も目下商談中たる由なれば追々石炭を以て事實破壞せられたりと云ふべし作蠶絲工場にても排貨後日本炭の非賣同盟を結びて開灤炭を焚料に用ゐて今日に及びしも兩三日來日本炭を再用するに至れり石炭を除きたる綿糸布、雜貨に至りては未だ公然取引あるを見ざるも有力商家にして日本に取引を有するものは一旦青島に輸入し背面より陸路日本品を輸入したる實跡あり之がため小賣商人と問屋間に葛藤を生じ排貨中と雖も全然日本品の輸入杜絕したりと云ふを得ざるべく最近商人の意嚮を聞くに仲秋節旬も目睫の間にあれば仲秋後公然商談に應ぜんと云ふに一致せるが如し左れば同地方の排貨も最早暫時の間と見て然るべきか

九月上半貿易 入超百五十餘萬圓

九月上半の朝鮮貿易は總品價四百四十萬八千七百三十五圓を算し內輸移出品價百四十四萬三千二百三十四圓輸移入品價二百九十六萬五千六百九十一圓にして結局百五十二萬二千四百五十七圓てふ近來珍らしき入超を見たり、而して之れを前年同期に比すれば輸移出に於て十五萬八千餘圓、輸移入に於て二十八萬八百餘圓の共に激增を示せり、又一月以降の累計は輸移出品價三千十三萬三千二百七十九圓にして前年同期の二千百八十五萬九千五百一圓に比し八百二十七萬三千七百七十八圓を增せるも輸移入品價三千八百六十八萬八千五百五十九圓にして前年同期の四千五百三十一萬六千二百六十九圓に比し七百二十四萬七千七百十圓を減せるを以て貿易額は多大の膨張を呈せるに拘らず本年一月以降の入超累計七百九十三萬五千二百八十圓に止り前年同期の入超二千三百四十五萬六千七百六十八圓に比すれば一千五百五十二萬二千五百圓弱の激減を來し輸移出入の均衡順調に向へり今本月上半に於ける主要輸移出入品を示せば左の如し

輸移出重要品（一萬圓以上）

品目	價格	品目	價格
米	[illegible]	大麥及小麥	[illegible]
豆類	[illegible]	乾魚及鹽魚	[illegible]
鐵類	[illegible]	牛皮	[illegible]
生牛	[illegible]	肥料	[illegible]

輸移入重要品（一萬圓以上）

品目	價格	品目	價格
粟	[illegible]	小麥粉	[illegible]
食鹽	[illegible]	砂糖類	[illegible]
淸酒	[illegible]	綿類	[illegible]
綿織糸	[illegible]	生金巾類	[illegible]
晒金巾類	[illegible]	天竺布	[illegible]
綿縮子類	[illegible]	日本綿布	[illegible]
毛織物	[illegible]	麻織物	[illegible]
紙	[illegible]	熟鐵	[illegible]
軌條類	[illegible]	煙草	[illegible]
石炭	[illegible]	木材及板	[illegible]
鋼及類	[illegible]	セメント	[illegible]
鋼鐵	[illegible]	及石灰	[illegible]

しが特種需用とて起るなかりしかば同樣幾分の底落を現出したりき（完）

八月中の物價（承前）

▲低落品の部

▲雜穀 大豆小豆、荏子の諸品孰れも不要需季とて捗々しき商ひなく受所相場も殆んど底値に迄達し最早下餘地を存せざるの姿なり ▲牛皮 上中旬に於ては引續き市況沈靜し至つて不味の商情を見かれざりしが月末に入り內地安東縣行の商談弗々纏り來れると共に自然相場も漸騰の氣味を呈したり ▲浪平板及洋釘 浪平板は歐洲戰亂後一般に輸入なく毎日平均六十噸許の輸入ありたるのみなるに本月中旬頃約定品の廻著あり例月に比し輸入多く即ち約百噸許の入荷を見たる折柄一方實行は平板に於て可なり成績を得たる外浪板實行は極めて微々たるものに過ず加ふるに原料亞鉛安を傳へ來りしかば當地人氣腐と相俟つて相場は覓に下落に頻するに至れり又洋釘も久方振り約定品の廻著あり約千五百樽の入荷を辨したり

檢查課長會議

稅關檢查課長會議は二十一日も前日に引き續き午前八時三十分より總督府第二會議室に開會、荒井長官統裁の下に豫定の諮問ありて正午散會したり、因に總督は二十五日一同に對し訓示ある筈なりしも當日は支障あるを以て多分二十三日に繰り上ぐることゝなる可し

鮮銀支長會議

朝鮮銀行支店長會議は既記の如く二十一日午前九時より鮮銀會議室に開會、朝鮮、內地、滿洲各支店長は勿論本行よりは市原總裁、水越、三島、木村の各理事以下局長等列席し總督府よりは入江理財課長監理官として臨席したり

煙草業者大會

十月十四日より三日間始政五年記念朝鮮物產共進會の開期を機として總督府專賣課にては十月十四、十五、十六の三日間總督府度支部分室に於て煙草產業講話會を開催するに決せり、來會者は目下各道に紹介中なれば未だ確定せざるも各地の煙草業者並に煙草事務從事の官吏等百名以上に達す可しと、講話題目並に講師左の如し

煙草耕作法 度支部技師 新莊 三郎
煙草製造法 同 神田 孝一
米、英、佛、伊、玖馬各國に於る煙草產業の現況 總督府技師 岡田 虎輔

因に開會時間は每日午前十時より三時までにて開會當日には懇親會を催す可く目下諸般の計畫中なり

總會と秘苑觀覽 一二三日間は團體觀覽拒絕

十月二日は昌德宮秘苑に於て日本赤十字社朝鮮本部第二回總會並に愛國婦人會朝鮮本部第三回總會擧行に付き一二、三の三日間は團體の同秘苑內觀覽を差し止むることとなれり

朝鮮醫師試驗

朝鮮醫師試驗は來る十一月十五日より總督府醫院に於て執行願書提出期限は十月三十一日迄と確定二十二日の官報を以て發表されたり

警部口術試驗

警務總監部にては二十一日午前九時より鮮人巡查七名に對し警部口術試驗を行ひたり

人事消息

▲宮入慶之助氏（九大教授醫學博士）二十一日夜入京巴城館に投宿
▲神代良介氏（大邱慈惠醫院醫官）同上
▲水野廣德氏（肥前乘組中佐）同上
▲梶川大主計（三等乘組）同上
▲大和田莊七氏（敦賀大和田銀行頭取）同上
▲津米有隣氏（咸興地方法院判事）二十一日夜入京不知火旅館へ投宿
▲川角澤太郎氏（同上檢事）同上
▲原島善之助氏（技師）廿三日午前八時半南大門驛發にて東京に轉居す
▲岩谷二郎氏（奉天三林煙草公司主）二十一日入京旭町廣江澤次郎氏方へ投宿

◎本日總督府公文添付

空前絕後 闘牛

特等 金參拾錢
上等 金貳拾錢
並等 金拾錢

御待兼の慶尚南道晋州の名物たる勇壯奇拔なる闘牛は去る十八日午後一時より左の處にて賑々敷興行致す事になりました如何に闘牛が活劇場裡に立ちて勇猛壯烈なるか御實見の上御批評の程願上升

京城明治町（東拓會社前空地）
闘牛興業元

論壇の勇將浮田博士の新論文

實業之日本

□實業辻說法（三十代の若者に代て老者重役へ三十棒） 實業和尚
□親子新舊思想の衝突 新渡戸博士
□富者のみに起る禍
□東京大銀行の首腦者
□役立たぬ學問の仕方 建部博士
◎學生書 浮田博士每號執筆
筆者は現代のオーソリチー偶ま時事に感ずる所あり慨然筆を執つて此大雄篇を草す、書生とは何ぞや大人とは何ぞや一言一句警世の大々的痛快文字なり
□山林原野の新利殖法
□東京品ご大阪品の角逐
□早稻田大學教授評判記 天火
□井上侯初對面錄 張面冠者
□如斯歯を持つ人は生命に關す
□我々の生命を短くする四原因
□南阿奮闘日本男

九月十五日發行 拾壹錢 郵稅五厘 半年一圓七十錢 東京京橋區 實業之日本社

鑛石買入廣告

一、タングステン鑛
一、水鉛鑛
一、マンガニース鑛
一、亞鉛鑛

右買入候間多少に不拘御來談被下度候

京城南大門通四丁目二十二番地（電話二四二番）
合資會社 高田商會出張所

新進畫家揮毫

室內裝飾用 油繪額面月賦提供

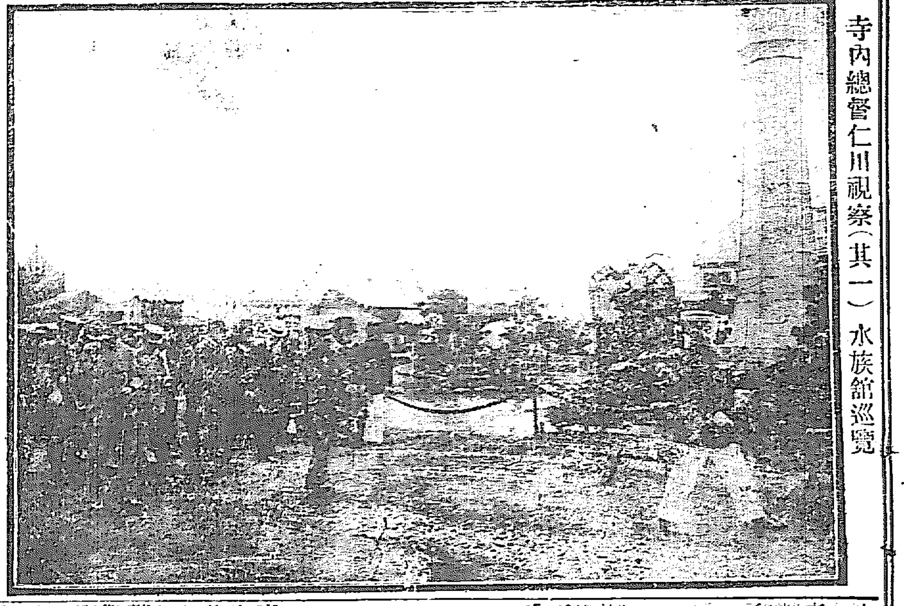
▲新時代の美術品として和洋の室內を飾るに足るべき清新壯麗なる油繪を高尚優美なる金縁額面となし最も低廉なる價格を以て希望者に頒つ
▲會費は文明的月賦法により最初現品を送付し七回月賦拂の便法あり

見本呈進 ハガキにて申込次第
東京芝白金臺町一 日本新美會 電話芝四八二番

眼科 內科 小兒科 入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
本田醫院 院長 本田建義

外勤社員五名招聘
志望者は履歷書送れ、面談日追て通知す
誠なる奮闘家を要す
京城黃金町二丁目 有隣生命保險株式會社朝鮮支部

樹が繁茂して…相奉商が親みに十錢銀貨を渡すとさも其光輝を賞で…の爲めに分け入つて見ると行く事…珍らしげに眺め入るが用途は知らねのでさ…おけび杯と交換して來させる
▲因果應報の剝製の雛
北…遊獵に出た儘數日を經るも歸つて來ない友人共は各所を搜索したが見當…どうも不思議である因果應報と言ふのは之を言ふのに違ひないと其鶏を…とグンテル…ルに一杯頂きませう』なんかと云つて居る一體何んな意味かと訊ねて見…前代議士日向輝…氏の夫人…女史は夫への差入に少くとも四十圓六人の子女の教育費や何かで百圓ど…昨日爭ひ合つた書店今は引受けようといふ者もないので昔鍛へた一串と…外に在つた腐裏一足をチョロまかせたのみであるに神戸裁判所は強盗未遂として七箇年の懲役を宣告した



寺內總督仁川視察（其一）水族館巡覽

艦上の淸宴

總督軍司令官等の一行　名和提督の招莚に臨む

第二艦隊司令長官名和海軍中將の招待により仁川港碇泊中の旗艦鹿島を訪問せる寺內總督は同行の井口軍司令官、川村第九師團長、檜垣道長官、小宮李王職次官、白井少將、古海少將、兒玉總務局長、大藤副官、池邊秘書官、久水府尹等と共に二十一日正午仁川稅關埠頭を發し艦載水雷艇にて旗艦に向ふ、此の日天澄みて海波穩に月尾島沖遙かに碇泊せる戰艦四隻は堂々山の如く艦尾秋の日に輝ける軍艦旗の色も鮮かなり別けて總督一行の

▲佳賓を迎ふる

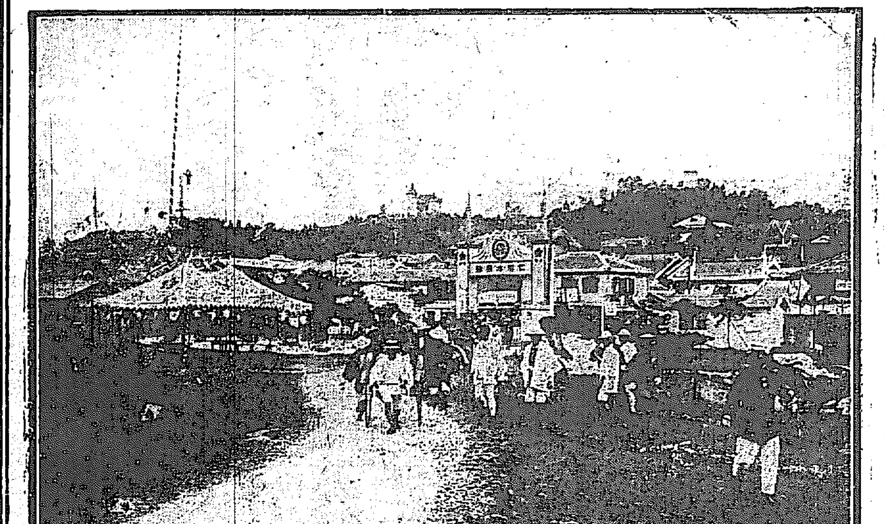
旗艦鹿島の後甲板には舷側に花の如き萬國旗を取繞らし大軍艦旗の色彩と共に美觀言ふ可らず艦て總督を乘せたる水雷艇の巨艦々側に横附となるや總督は乘組將校の案內にて右舷の門より上甲板に登る、甲板上には鹿島艦長下村大佐を始め名和第二艦隊司令長官、森山司令官、加藤參謀長以下幕僚十數名の出迎へあり續いて衞兵一同の（捧銃）禮式を行ふや喇叭手は劉喨たる『海行かば』の曲を吹奏し艦影、巨砲、劍光相映發する處壯觀云はん方なし、斯くて一行は後甲板上萬國旗に圍まれたる休憩場に入り總督は名和司令長官、井口、川村兩中將等と共に

▲卓を圍て歡談

し和氣藹然たり、次で下村艦長は總督を案內して十二吋巨砲の縮射彈演習を試む、其の驚く可き巨砲が大なる砲塔と共に左右に旋回上下する光景も頗る感興深きものにして次で又砲塔上三吋砲の操縱及艦側十吋砲の說明あり斯くて午後一時半ともなれば總督を主賓とせる招待會は艦尾中甲板の將官室內に開催、名和司令長官の挨拶に次で寺內總督の謝辭あり席上談笑湧くが如き間に午後二時半宴を了る、一行の再び後甲板休憩室に入るや鹿島艦長は更に總督を案內して水兵十名の試むる

▲六時砲の裝塡

法に就て說明せしが此器械は帝國海軍の創製せるものにて重量十二貫匁の砲彈を手球の如くに裝塡する演習は頗る美事なるものなりき、斯くて二時三十分に至り總督一行は鹿島を辭し稅關埠頭に上陸、正三時特別列車にて仁川驛を發したるが總督は途中朱安驛にて車を下り西方數町の鹽田を一覽して親しく結晶池、蒸發池等を視察し約一時間の後同驛發車午後五時半南大門驛着直ちに自動車にて官邸に歸れり



寺內總督仁川視察（其二）水族館を辭して埠頭に向ふ

飛行界の新傾向

機體材料は寧ろ重き金屬を選む　三萬五千圓の懸賞募集

帝國飛行協會員　澤柳少佐談

天空を翔り行く鳥の自由を羨んだ人間が、昔幸に苦心を重ねて飛行機と云ふものを創造したのが、今から十三年程前の事と聞く、飛行機と云ふものが出來てから世界各國先を競うて科學力の及ぶ丈を盡して研究を重ねたる結果は戰爭に應用さるゝ迄に進歩を來し戰術上にも一大變革を見る樣になつた、現に今回の戰亂に於ても至る所物凄なる空中戰が演ぜられ居る、其一方に於ては飛行機射擊砲など云ふ樣なものが種々研究されては居るもの〻到底列強間に於て秘密の間に日に月に發明されて行く發動機の工夫構造の改善進歩とは較ぶ可もないのである

▼發動機の發明に三萬五千圓の懸賞▲

吾協會にあつても此世界の大勢に鑑み往年協會を設立したが現在では僅々十七萬圓の資金を有するに過ぎぬ醵に協會の發表したる三萬五千圓の懸賞附發動機の發明に對しては十九人の應募者ありたれども目下は十三人に減じ田中館博士其他の人々が審査の任に當て居るのであるが來年三月末日迄には其成績を發表することが出來ると思ふ、應募成績の良否に就ては明言するの自由を有しない

▼航空界は未だ初步の階段を通つてある▲

現今吾邦で使用して居る發動機の中で海軍の百馬力と云ふのが最大動力を有して居るのであるが礒邊氏のルンプラーも百馬力は出ると思ふ、併し乍ら歐洲諸國には獨逸の陸軍が二百馬力もあらうと云ふ發動機を据付て居るのとは到底同日の論ではない、さうかと思ふと露國のシコルスキー氏が百馬力の發動機四個を取付け二十五人乘りと云ふ素敵滅法な大飛行機を拵へ飛行機の大きさと馬力とに於て世界第一の記錄を作らうと云ふ樣な勢だからさつぱり見當がつかぬ

▼直上飛揚と安定となるは目下の急務▲

現在の飛行機には二つの大缺點がある、一つは安定で次は直上飛揚である、飛行機が滑走を要せずして飛揚すれば容易に着陸し飛揚の自由を得られ又一定の空間に安定し得らるゝものとせば偵察上にも非常な便利なものである、飛行船にあつても速力の改良を要することは無論であるがツエッペリン式一臺を飛揚せしむるには少なくとも百人の人手を要すると云ふ不便もある

▼最近世界飛行界の新記錄とは何か▲

飛行船と飛行機と又飛行機にしても單葉と複葉とでは其々其使用の目的の相異なるのは勿論であつて、旅客の運搬とか貨物の積載等には飛行船を以て適當とすれども偵察用には飛行機を要し就中單葉飛行機を使とするは勿論である、飛行時間も獨逸のボーエム氏は二十四時間と云ふ記錄を作り速力に於ては佛國の飛行家が百二十六哩を飛で世界の新記錄を現した、日本にも水上飛行家の馬越中尉が十時間てふ世界無比の長時間の水上飛行で世間を驚かした位が最近飛行界の出來事と云ふ可きものであらうと思ふ

▼人類の空中征服の時機は近きにあり▲

自分一個の考としては飛行機よりも飛行船に改良を加へて軍用にも運搬用にも用ゐたいと思つて居る、單葉にせよ複葉にせよ飛行の點に於て別に何れの機が危險が多いと云ふ譯はないのであつて素人考へでは單葉の方が危險の樣に思つて居るが必ずしもそうでない、從來の飛行機製作法は機體の輕減を計る爲輕いもの〳〵と云ふ方針からしてアルミニユームとか竹材とか云ふ樣なものを用ゐて來たのであつたが今日では寧ろこんな輕いものは反つて危險であるとせられて丈夫な相當の重量あるものを用ふることゝなり、そのかはりに發動機に改良を加へて積載力を增大する樣になつて來た

▼飛行家を志望する青年諸君の爲に▲

世界の大勢既に斯の如し從つて飛行家志願の青年も仲々鮮少ない、その條件を擧ぐれば先づ第一身體が健全であることで、其次には中學卒業の學力と之れに多少機械學の素養があつて欲しい、飛行界の前途は多望にして且つ遠大であるからして有望なる青年飛行家の輩出を待つに社會は雙手を擧げて歡迎するであらう

水族館めぐり（四）

橫著な海鰻

仁川の次郎さんから
京城の太郎さんへ

今日は第三號槽の中に遊んでゐるあなごと……またいたお通知せします魚槽の中に岩が入れられてあるから海鰻は五本も六本も岩の穴から頭を出してヌクリしやつて居る處またいの先生は其の周圍を廻つて上になり下になり遊んでをります此の縞鯛は本名をたかのはだいと申す者にてしまだいとは漁師の付けた名前で字の如し全身が縞になつてゐるのです仁川の魚槽の中に居るのは大さは五六寸位のもので此の魚は

□近海の岩礁の多い處

に好んで居るのであります澤山は居ないが他の魚を漁する時によく採れるのです漁夫の話に因ると一雁鉤と見えて餌を探る時によく掛つて來るのです次に海鰻は細い長い體をうね〳〵と波を打たせてるのですが大きいのは二三尺のものがあります、此の魚は日本朝鮮ばかりで無く遠く東印度諸島の近海に產し沙や泥の中に棲んでるのですが潮流の激しい處の連中は却々可い味を持つてゐるのです太郎さんのやうな山國の人は僕が鰻の蒲燒と異はぬやうに御馳走するから一度仁川へ來て御覽なさい、此の魚の面白い處は晝間は沙泥の中に潜り込んでなつて夜になると出て來て蝦、蟹、介蟲のやうな海底に居る

□連中を食つて廻る

のです冬季や春季に鰯の切肉いかなご鯛等を餌にして海底に繩を入れて釣ればよく食ひ付いて來るのです今日は尙ほ第四號のあかにし、あらかぶ、めばるも御紹介します此の四號槽は中々十寸趣匠を凝らして居ります二見ヶ浦の背景でめばる、あらかぶが戲れてる前にあかにしが客の方から能く見えるガラス板にぴたつと附着いて宙に浮てる處は中々妙な配合に成つてをりますよ此の赤鰤は大きいのは徑四五寸位のものもありますが仁川のは少々細い方ので一寸愛嬌がありますこれは仁川沖から日本內地到る處に產るのですが潤から夏分の間木石や介殼に卵を產み付け長形の卵の袋が出來るので是れを

□なぎなたほゝづき

と言つて女の小供が飯事にするんです此年の春太郎さんの處の花ちやんがお出になつた時お土產に差上たあれですよ尙此の中に目の大きな目張がをります大きいのは一尺餘りもあるので大きな目玉には驚きます能く暗礁の間に棲んで居つて春の初め頃によく繁殖するのです此の先生小いものいじめで弱い魚ばかり食つて居るので漁夫から網や鉤で取られて僕等の膳の上に上つた時は骨離が好くて一寸美味しいのです

家庭博覽會

可愛い夜のお客樣

李堈公令息の家庭博見物

家庭博覽會が入場者優待のため特に催した『しらぎデー』は朝から大盛況であつたが入場者の漸く出盛りそめ午後七時頃李堈公殿下の令息龍吉、聖吉のお二方が堀場御教育掛主任李王職屬李堈公家教育囑託鄭倘鎬氏外二名の侍女お附添ひで馬車を驅つて來場された御著と同時に遊戲場に成らせられ、先づ愛嬌者の安さんがお眼に止まり暫し興せられデンぐ太鼓の珍らしきにも手を拍つてお喜びになる水兵服を召されたお可愛しさお二方共京城幼稚園に通はれ流暢御活潑わけて日本語に通ぜらるゝ二方は過般阿部社長より玩弄を差上げたる記憶あり明確な日本語で『社長にアリガタウと傳へて下さい』と仰せられる、總て記者御案內申上げ場內を一巡したるに不思議の鏡前にて淸らかな眼を瞬つてお喜びになる、その他子供の人形等に見入りながら再び休憩所に御少憩至極御滿足で八時過ぎお歸りになつた因みに團體見物としては忠南洪城、同禮山その他からの二百餘名があり小松幹長夫妻、成田高女校長などが來られた

本日の家庭博入場者に限り紙卷煙草『壹圓』二つ差上げます

大島紬 見本進呈 鹿兒島市金生町 岩松屋

□今日の演藝館

△晝之部

二十二日晝の演藝館の出番は京城券番と妓生は左の如し

△御代の榮（踊）花奴、貞彌、寄蝶、櫛子、百千代、玉蝶、一奴、金花、奴、梅子、千代葉、國香、春次、若奴、光枝、春蝶
△つひのよるべ（踊）千代香、丸子、榮子、梅若
△地方 小六、吉彌、玉菊久、かなめ、濱次、若吉、ト一、幸奴、國菊、浪勇、勝丸、ヨシエ、智惠子、秀丸、はまぐり、岡太郎
△妓生茶洞組合
△始政五年記念箜篌舞 金玉眞、金翡翠、姜花仙、崔蘭紅
△寶相舞 金翡翠、崔春紅、崔可碧、鄭菜玉、尹弄月、崔秋月、金銀姫、崔瓊閣、白雲仙
△蓮花臺舞 張眞珠、金月仙、朴海花

△夜之部

夜の演藝館は活動寫眞にして重なるヒルムは左の如し
一滑稽新馬鹿　一不思議果物　一日本農業　一伊太利製材所　一佛國製鐵所　一アラビヤ人情風俗　一まぼろし　一時號

▲浪花館
浪花節京山若丸の今夜の語物は『乃木將軍』と『鬣者の意氣地』なり

京日案內

番外　一回前金十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增

●油繪月賦頒布開始　東京芝白金臺町一日本新美會に於ては斬新なる方法を以て油繪を二月賦にて希望者に頒つ尙詳細は本日の廣告にあり

●珍無類の掛軸　彼の月刊歐米寫眞畫發行にて有名なる東京寫眞社にては今回紙幣古今集…詳細は本紙廣告欄を參照あれ

⑩寫眞技師　御入性質溫順に技術優秀の者至急に採用の御方は右記…御照會を乞ふ 548

⑩產婆　松本千八　本町三丁目森川藥種店前入　電話取次一五八三 582

◎謠曲本　諸流 並に附屬品全部　一冊十二錢均一　京城南山町三丁目 中川松靜堂 583

◎櫻羊羹　栗羊羹人參羊羹茶羊羹大白羊羹　京城龍山青葉町 本舖有浦榮堂 584

◎瓦販賣　製造　青竹あり　京城古市町十四番地 上田商店 電話一三四五番 585

料理店旅館向き家屋賣物　南龍山高臺見晴らし好き處建物百坪總二階附御望みの御方は漢江通り十一番地三木熊之助方へ乙御來談 574

名刺　標本印刷　共進會寫眞館へ出陳　京城鍾路前 太平堂名刺舖 電話二七一二番振替二三六七番 578

◎入齒　技術誠確　共進會々期中特別割引仕候　京城本町三丁目商業銀行支店入 永井 53?

◎共進會記念集合撮影　寫眞迅速調製 定價卅錢　門鑑寫眞　本町二丁目總督府御用 浦尾旅館前 金田寫眞館 529

◎古着古道具類一般買受候　右は相當價格を以て確實に買受候　旭町一ノ廿一 電話一八一二 クヅ谷商店 509

▲りん病ばい毒にて困る御方は御出でなさい詳細は本月四日の京城日報を御一覽あれ　京城南大門外 ドラッグ商會 563

好職業　四圓五十錢の處無料傳授　ゴム事業　五年寫共進會期中各道特に廿名に限り傳授　京城大漢門前 太陽ゴム商會 567

◉鑛物各種分析　京城太平町二丁目三四四番地 坂元分析所 577

皮膚病花柳病專門　永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 566

◉土產品は翡翠に限る　朝鮮名產高麗豆元祖 珍菓新羅豆　明治町二丁目 村井商會取次 電話二三六八番 544

◉普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢增

◉日本語に熟達の內鮮人　鮮語に熟達の內人に對し通辯及他の業を兼雇入　京城旭町一丁目九四ノ四今橋出張所 587

◉和服仕立物　成し破下方は至急申込あれ御頼み致したし年中有　京城本町三丁目廿五番地 川村衣服店 588

●職工入用　木工ナライバン職工二名至急雇入る希望者本人來談　京城永樂町一丁目 與田工場 589

●求妻　廿七歲の男子業務商人血統純正の獨身者溫順なる婦人を迎へたし御周旋を乞ふ　姓名在社 590

●求職　京都高等女學校卒業生至急職を求む年齡廿二歲御採用の御方は太平通二丁目三百卅番地古谷迄 576,58?

●造花　裝飾記章調製　各種原料卸賣可仕候　京城南大門通五ノ二九 …商店

●貸家　日本建溫突付三室　管理者 … 507

●時計職人及び十六七歲の見習生入用　京城本町一丁目 平井商會 580

●見習　小學校卒業者…十六歲以下にて…　京城本町… 586

朝鮮總督府　一、花崗石材拾五圓…右賣拂ス詳細ハ九月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ロ

狸爺家康　長田偶得氏著　…定價金七十五錢…　東京本鄉區 成功雜誌社 振替三三〇九

寫眞出張撮影　寫眞銅版 亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て迅速と可成低廉を旨とし御需に應ず　京城日報社 寫眞製版部

成功致富　株式相場　講義錄　本社々長商柳氏は無一文より僅九ヶ年間に拾餘萬の富を作りし人也…會則進呈。東京神田表神保町十 富強世界社

遊漁船　御案內　釣道具 御小賣　仁川水族館正門前 芹川漁具店 電話七五四番

瓢の旗風 (559)

番衆浪人

商井年郎畫(?)

賤が嶽前記 (一)

去年以來、謀策を以て、秀吉を討らる〳〵と思ひながら、却て秀吉に討られた勝家、今更無念も、早や立ち後れの姿がある。陰に入り込ませた宇野忠左衛門が、あはたゞしく立ち歸つて、長濱は敵に報告したので居合せた面々、唯、何の言葉もなかつた。やがて勝家は握り詰めた拳ブル〳〵と顫はせ。玄蕃に見る〳〵サト顏の色を輝た。

『エヽ、ツ、何として、アノ、長濱が敵へ……』

勝家は膝を進めた。

『ハツ、御意、筑前、總ての野心、御當家と淺からぬ怨を有つもの、若しく猜疑のある者、夫等悉く敵に極めて、年內に一當て當て、殊にもよらば殿の御出馬をも……サ、其庭で、先づ長濱を、殊に彼の城は、筑前爭て長く住み馴れた土地、取り返さうが趣意、理由もなく、伊賀殿に讓られたが、彼の遺恨、蜂谷、池田を從へ、遠卷きに圍んで……』

『何と言やる忠左ツ、小癪な猿めが……』と玄蕃は肩を怒らした。

『其れに、遠卷きのして、木下半右衛門、大金藤八郎、德永岩見の、呼び寄せての談判……』

勝家は眉根ピク〳〵と動して、ウーと吐息する計りである。

『家老共が、何のして、半右衛がまつた……』

玄蕃は鋭どく問うた

『御意、筑前の口に乘りまいて、越前に父母妻子のある者は、急ぎ北の庄へ、我等に與しよう心ある者は、筑前殿に忠義……』

『エヽ、ツ、あの半右衛も、藤八も岩見もかよ……』

勝家の顏を見る〳〵色が變つた。

『其の末、筑前殿、一矢も放たず、一彈も發せず、長濱のお城へ、入り申して御坐ります』

『チエツ、無念、玄蕃、今更、猿が首見いて……』

勝家は最早怒に堪へられぬ聲で、

『叔父御、最ふちつとも早ふ、出陣の御意……』

『マ、左樣も御座りませうが、隱居にも、玄蕃殿にも、一獻お召しあらせられませ』とお市殿は、酒を運んで來た。

『又たかツ、此の場合、叔父御、猶豫は……』

玄蕃は、最ふ起ち上らうとした。

『マ、待てツ、玄蕃、猶豫ぢやない一獻差さう』

勝家は、むしやくしやする氣を、一時でも酒でをさへようと、早や大盃に滿々と注がせた。

『叔父御、此の期、何の……』

『マア、好いワ、忠左、お身も一獻明日は要意ぢや』

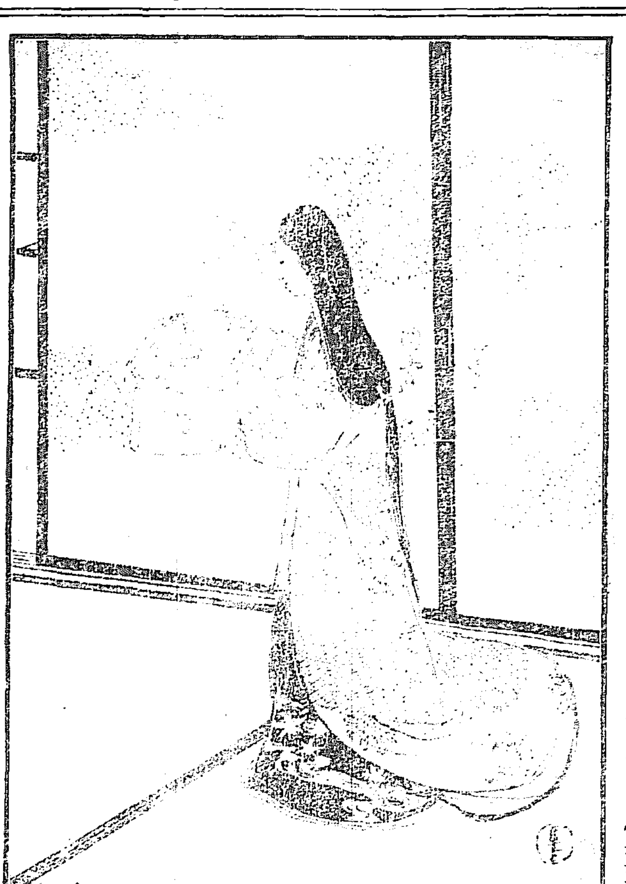
盃を玄蕃に差した。澁々ながら受けた玄蕃。

『之れで門出のして』グイと一と息に飲んで、忠左衛門に渡す。

『ハツ、今度と云ふ今度こそ筑前の……』

云ひさして、之れも一と息に干して、勝家に返した。

唯獨り、氣を焦つて居るは玄蕃である。長濱の敵の惡いよりも、勝家の爲には、お市の方と一日も離れともなかつた。何にお天下の美人、血腥い戰場へ出るよりも、此のお酌に越ゆる事はあるまい。玄蕃は日頃から、勝家がお市の方を愛して居るのが氣に入らなかつた。



讀者の領分

▲當地に近頃乘馬熱が餘程盛んに成つて參りましたが此の共進會開催の好機に際して一日素人競馬會を開いては如何ですか騎手志願者も澤山ありましようし定めし非常な人氣を集める事でしようと存じます(マリオネ)▲昨日共進會を拜見して一寸目に就いた疑を發表しませう鐵道館の鮮滿鐵道の全線模型の內「ロンドン」の譯字が「敦賀」としてあるのと[illegible]諸驛の間にある[illegible]驛の驛名が違つて居るのと[illegible]山姥中が[illegible]と思ふ山姥のおもても何だか違ふ樣だが夫として、孫次郎は金剛家の先祖にして名技を兼ねた孫次郎と云ふ人が其妻の美容をモデルにして鐫刻したものである事は此名の因であるのです(穴栗註作)▲永樂町附近の風呂屋さん井戸の水をやめて水道にしなさいもすこし湯場を清潔にし朝鮮人を入れぬやうにすると客も多くなります(浴客)▲へボ生に答ふ近所の惡口は卑屈だが惡口を云はれる事實を君の良心に省み玉へ僕の名は君が知つてる(下女崇拜者生)▲共進會の開館時間を午前八時位に繰上て下さい(早起生)▲小生は昨十九日午前九時仁川行の汽車に乘り龍山驛に來し處多數の來客ありて遂に切符を買ふ能はず驛は中途滿員なりとの故を以て發賣を中止致し場內を見れば魚釣や局員の家族連や何も無賃のもの四五十名を下らざる可く見受け候滿員なれば此の如きものを引下し賃金を拂ひたる客を乘すべきものにあらずや餘り腹立たれし故小生は(永登浦迄の要事なりし故)自轉車を馳りて行けり(憤慨生)

公告

左記ノ不動產ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

京城地方法院

㊀高陽郡漢芝面馬場里(新京城府昌信町) [illegible] 最低競賣價額金八十六圓也

[illegible]

㊂高陽郡漢芝面南伐院 同面水口側外南伐院 字畑千百八十八坪二合八勺五才 最低競賣價額金九十五圓也 右不動產所有者 中立人 尹宋(?) 在昌城洞四十四番地 [illegible]

㊃京城府 [illegible] 十七坪 最低競賣價額金五十圓也 同地上建設 草葺平家建一棟 建坪三合六勺五才 木造 最低競賣價額金六圓也 右不動產所有者 中立人 [illegible]

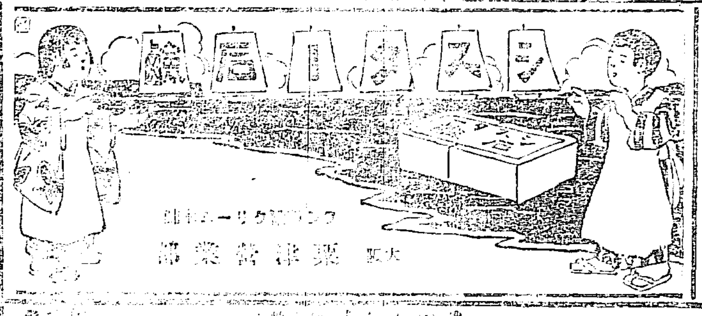
右競賣期日大正四年九月貳拾七日午前拾時トス

金鎭泳 金順泰

新刊書御案內

南天棒禪話 一、二〇
周公と其時代 林泰輔 二、三〇
日本倫理 有馬祐政 一、〇〇
日支交渉と帝國の利權 一、五〇
模範的都市經營 一、〇〇
果樹の害蟲 高橋奬 一、二〇
日蘭三百年 一、八〇
蘭領東印度 二、五〇
南洋の資源 八五
米國より日本へ 一、〇〇
模範英文名句集 一、五〇
英文日本年鑑 一、〇〇
進化の話 一、五〇
自然の力 一、五〇
疑問の心 八〇
[illegible] 一、三五
[illegible] 七八
[illegible] 二、〇〇
[illegible] 七五
[illegible] 三五
地底の寶 五五
[illegible] 一、三〇
[illegible] 七〇
野心 一、三〇

大阪屋號書店 (振替京城二二五七番)



かつけ 尾崎糖精

村井弦齊先生命名實驗證明 販賣元 東京中鍛冶町 尾崎兄弟商會 全國藥店に有

露西亞物產雜貨一式 歐米洋酒食料品 北鮮產石鍋石器類

元山府仲町 西澤商店 電話四六四番 振替京城二七四九

「內外各處に賞用せられ效能最も卓越せるは本劑なり」

大阪北濱壹丁目 參天堂藥房

[illegible]帝國醫科大學醫院の處方に基きし[illegible]劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●[illegible]一切に驚くべき效能あり●十歲以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

りん病 ばい毒 專門藥

世界に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集し一々試驗しての効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に何も仕掛けもあるのではありません。只世界の有りさる病、梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細に本月二日の京城日報夕刊第四面を御覽下さい。●りん病藥壹週間分普通壹圓試拾錢特製貳圓●ばい毒藥一週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信劵を要す

京城南大門外停車場通り

ドラッグ商會 鮮滿本部

電話二五六七番振替京城四六七番

本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會

内外博覽會金牌受領

▲ほんのりと色白くなる

宮內省御用 皇后宮職御用 各宮家御用

洗顏入浴に附物の如く レート洗粉は 都人士の間に大流行を極めて居ります 色を白く肌理を細かに白粉附をよくす

新美容料 レートフード

東京・大阪 平尾贊平

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
高砂丸 十月廿一日 正午出帆
三河丸 十月八日 正午出帆
相模丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

平安丸 九月廿七日 九月廿二日 群山發 若松發
佐航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、二木浦、群山行

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三三三番
京城南大門驛前 京城商客取扱店 松原運送店 (電話一二〇七番)
鐵道及社外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願ひ候

△全羅丸 九月廿五日 釜山發
△京畿丸 十月五日
黃海丸 十月九日
咸鏡丸 九月廿九日
門司より釜山各港寄港雄基間こと 但△印は元山釜山間直航する

昌平丸 九月 日 元山發
鏡城丸 九月廿六日 元山より各港經由雄基行
竹清丸 九月 日 元山發
忠清丸 九月 日 元山發 城津、清津、羅南行復航釜山經由門司
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久慈、五里浦行 又は長崎延長
嘉島丸 九月廿五日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 毎月 (釜山浦項)發
慶陽丸 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 九月廿四日 釜山發 長承浦、統營、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
統營丸 慶安丸 各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目毎 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
慶興丸 九月廿五日 木浦發 各港經由濟州島行(月八回)
公州丸 九月 日 木浦發 南多島海列島行(月三回)
宗信丸 九月廿二日 仁川發 海州他各港經由、鎭南浦行
江原丸 九月廿二日 仁川發 青島直行、大連、芝罘行
麗水丸 九月 日 仁川發
初鹿丸 九月廿四日 各港經由木浦行
全州丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 江華島、桐西島、海州行

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
秀吉丸 九月廿二日 日後五時出帆
君が代丸 九月 日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
大有丸 九月 日後五時出帆
○群山、大阪行
土海丸 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 小倉丸 九月 日後五時出帆
○元山城津浦項行 小倉丸 九月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸 九月 日後[illegible]時出帆
○元山、清津、浦項行 立神丸 九月 日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 九月 日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 九月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大興丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山府本町 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航近海航路(臨時船を除く)同連絡の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○×群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
溫州丸 九月廿三日 午後五時出帆
漢城丸 九月三十日
×○木浦、釜山、長崎行▲は嚴原島へ寄港
安東丸 九月廿四日 午後二時出帆
▲天智丸 十月三日
××○鎭南浦、大連行
安東丸 九月廿八日 午後二時出帆
天智丸 十月五日
○○鎭南浦關門神戶大阪行
淳發丸 九月 日 正午五時出帆

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

基隆、新高丸 (上海、基隆、打狗行)(大連出帆) 十月十一日 午前四時出帆
九月廿二日
城津丸 十月七日 午後九時出帆
宮島丸 九月廿七日
○元山、清津、浦潮行(釜山出帆)
△千珠丸 ○大連直行 十月三日 正午出帆
チヨイサン丸 九月廿三日
△千珠丸 ○群山、釜山、横濱行 十月九日 午後四時出帆
チヨイサン丸 九月廿八日

御注意 ○朝鮮郵船及朝鮮郵船會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆前一時間迄に御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り △印は貨客御斷り

阿波共同汽船仁川出帆

第二共同丸 芝罘、大連行 九月廿二日 後七時入港 八月廿四日前九時出港
朝鮮總督府命令航路 大連にて青島行定期船に接續し天津、牛莊、安東縣行貨物通し取扱仕候

第二阪鶴丸 城津、清津、浦潮行(元山出帆) 九月 日 後九時出港
九月 日

第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 九月 日 前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
南大門通 京城取次店 河村運送店

大阪株式特電

[illegible] 二二八、四〇 九三、三〇 二一〇、七〇 二一〇、九〇 二三三、二〇 二一一、〇〇 二二一、八〇 二二三、二〇 二四六、〇〇 二四〇、〇〇 [illegible]
九月限 十月限 十一月限 十二月限

下關期米

十月限 七千百五十石
十一月限 三百六千五十石
場 高 直八圓九十一錢 安 直八圓八十六錢

[illegible]高に寄付大阪二所九十四錢四厘九十六錢と高移りはて直ちに九十一錢と上伸したるが戻りは買物方の折柄大阪九十五錢と安移りに買物願はれ八十五錢と押したるも八十七錢と押し返たるやの觀あり當地八圓八十六錢より大阪諸高を受けて一寸買にて九十一錢と引返したるも大阪正安移りに⊖よより買物願はれ八十五錢を押して八十七錢と引返[illegible]石の熱心買千三百石に對し〆千三百石買向ひたるに過ぎず自先向斯る狀態を持續し何か動機に接觸して大に變動し來るならん